

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内 容	静岡新聞データベース plus 日経テレコン利用料		
年 月 日	令和7年 4月 8 日 ~ 令和 年 月 日	金 額	57,200 円

目 的	調査研究など政務活動を行う為の情報収集手段	
使 途	令和7年 3月分 利用料 (2アカウント分)	
政務活動・ 県政との 関連性	調査研究の為の情報収集をし、政策や質問に生かしていく。	
《領収書貼付枠》  静岡県庁店 静岡県静岡市葵区追手町9番6号静岡 県庁西館4階 電話：054-251-7729 2025年 4月 8日 (火) 9:23 印 3-3136 責No.010 下記公共料金等の代理受領は 別領収証となります SMCC (SMBCFS 1件 25.4.08 ← 払込受領証 (コンビニエンスストア用) 払込人氏名 自民改革会議 様 お客様コード [REDACTED] 金額 57200 円 内消費税 5200 円 受取人 日経メディアマーケティング株式会社 受領印  57200円 静岡・県庁 受領日附印 お客様控		

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動	57,200 円	100%	57,200 円

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内 容	新聞購読料 (静岡・読売・毎日・朝日・産経・中日・日経・木材)		
年 月 日	令和 7年3月26日～ 令和 7年3月27日	金 額	59,350 円

目 的	調査研究に関する情報収集
使 途	令和7年3月分 購読料
政務活動・ 県政との 関 連 性	政務活動の調査研究における情報資料

《領収書貼付枠》

領収証 (口座振替)

支店 区域 順路 No 自民改革会議
01 011 075

振
様

領 収 額	部 数	金額(円)	備 考	領収金額 (含消費税)
※朝日新聞	2	8,000		8,000 円
10%対象 0 8%対象 8,000		(内消費税 0) (内消費税 593)		2025 年 03 月分 領収致しました。(引落日) 2025 年 03 月 26 日

静岡中央新聞販売(株) 登録番号: T3080001023923
静岡市葵区竜南3丁目17-2
フリーダイヤル 0120-57-7700 TEL 054-295-7700

ご購入ありがとうございます。本証はご保存下さい。金額その他を訂正したものは無効です。

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動	59,350 円	100%	59,350 円



〒 420-0853

<金融機関口座振替済>

領収証

(21-06) 【お客様照会番号】

静岡市葵区

9-6

25年 3月分

3-2

追手町

県庁本館

3F

自民改革会議

様

ご購入ありがとうございます。
ございます。

購読紙	数	金額
*毎日新聞 朝刊	2	8,400
*日本経済新聞	1	4,800
*産経新聞	2	7,800
合計	*****	

*軽減税率対象

取次店 八千代町

登録番号T7080001000654

25年 3月 26日

文字訂正印,領収印無きは無効

株式会社 読売新聞静岡支店

本店/静岡市葵区七間町3番地の20

☎420-0035 TEL (054)255-2231(代)

☎ 0120-40-2083

ご愛読ありがとうございます

上記新聞代金正に領収致しました



〒 420-0853

<金融機関口座振替済>

領収証

(21-06) 【お客様照会番号】

静岡市葵区

9-6

25年 3月分

追手町

県庁本館

3F

自民改革会議

様

ご購入ありがとうございます。
ございます。

購読紙	数	金額
*日刊木材新聞	1	6,750
*静岡新聞	2	6,600
*中日新聞	2	8,800
合計 [税込]	¥43,150	

*軽減税率対象

取次店 八千代町

登録番号T7080001000654

25年 3月 26日

文字訂正印,領収印無きは無効

株式会社 読売新聞静岡支店

本店/静岡市葵区七間町3番地の20

☎420-0035 TEL (054)255-2231(代)

☎ 0120-40-2083

ご愛読ありがとうございます

上記新聞代金正に領収致しました



読売新聞 領収書

区域113 全戸0057

お問合せNo

登録番号 T4040001007854

お名前 自民改革会議 様

静岡県庁東館東12-2-12-3

07年 3月分 振替

銘柄	部数	金額
1 読売新聞朝刊 ※	2	8,200
2		
3		
合計	8,200円	

◇左記の通り領収しました

※は軽減税率(10.0%対象 0円消費税 0円)
(8.0%対象 8,200円消費税 607円)

領収日 年 月 日



読売センター静岡県庁前

株式会社 よみうりエコー

静岡県静岡市葵区駒形通3-3-3

TEL 054(252)0441



(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

目 的	_____
使 途	_____
政務活動・ 県政との 関 連 性	_____
《領収書貼付枠》	

案分の理由 全て政務活動	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	54,340 円	100%	54,340 円

2-3

自民改革会議 御中

発行日 2025 年 03 月 07 日

領収証番号 0000000878

領 収 証

リコーリース株式

毎々格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
下記金額を正に領収させていただきましたこと、お知らせ申し上げます。

東京都港区東新橋1丁目5番2号

領 収 日	2025 年 3 月 4 日
領 収 額	54,340 円

印紙税申告納
付につき趣町
税務署承認済

お 支 払 方 法	口座振替
振 替 口 座	口座番号の下3桁は、お客様情報保護のため「***」と表示しています。

領収明細書

契 約 番 号	請 求 期 間	回 数	金 額	消 費 税 等
	25. 3. 1~25. 3. 31	48	49,400	4,940

続きは裏面をご覧ください。

支 出 証 拠 書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・事務局)

経 費 項 目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内 容	自民改革会議ホームページ更新費用		
年 月 日	令和 7 年 3 月 31 日 ~ 令和 年 月 日	金 額	24,530 円

目 的	県政に係る情報等を県民に報告
使 途	令和 7 年 3 月分 更新料
政務活動・ 県政との 関 連 性	県の施策、議会での発言内容、政務活動状況などを掲載し、情報を広く伝える とともに意見を聴取し、県政に反映させる。
<<領収書貼付枠>> 振込手数料 330 円 24,200 円+330 円=24,530 円	

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動	24, 530 円	/	24, 530 円
		100%	

領 収 書

3-4

2025年3月31日

自民改革会議 様

Imacro Design



マクロ デザイン

〒435-0006 静岡県浜松市中央区下石田町136

TEL 053-422-7017 担当者 小池敏彦

下記の通り領収いたしました。

登録番号 T9810734041087

合計金額 **¥24,200 (内消費税 ¥2,200)**

収入

印紙

(以下明細)

商品名	単価	数量	金額
2025年3月分更新費用、サーバレンタル費用	22,000	1	¥22,000

税抜合計金額 ¥22,000

内消費税額(10%) ¥2,200

3-4
3-5

静岡銀行 しずぎんWEB-PCバンキングサービス
承認結果<振込振替>

【状態：受付済み】

処理日時 2025年03月26日 09時21分12秒

■取引情報

取引ID	250326000030575
受付番号	0326002
取引種別	振込振替
振込指定日	指定日 03月31日
取引名	03月26日作成分
振込メッセージ	-

■振込元情報

支払口座	
------	--

■振込先口座

振込先金融機関	静岡銀行 (0149)
振込先口座	ささがせ支店 (374) 普通 0480639
受取人名	イマクロデザイン コケ トシコ
登録名	イマクロデザイン

■振込金額

入金金額	57,200円
税込手数料	330円
引落合計金額	57,530円

3-4 合
3-5 算

■依頼者情報

依頼者	
依頼日	2025年03月26日

■承認者情報

承認者	
承認期限	2025年03月31日
承認日時	2025年03月26日 09時21分
コメント	会派HP更新費用 (R7.3月分) 政務活動費管理システム保守サポート費用 (R7.3月分)

振込依頼を受付けました。
振込依頼は 3月31日扱いです。

3-4
3-5

NO. 202503-04
2025 年 3 月 25 日

御 請 求 書

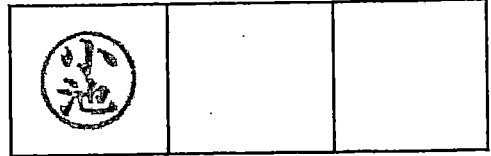
自民改革会議 様

Imacro Design
イマクロデザイン
〒435-0006 静岡県浜松市中央区下石田町136
TEL 053-422-7017
登録番号 T9810734041087

担当者 小池 敏彦

下記の通り、ご請求申し上げます。

合計金額 **¥57,200**



品 名	数 量	単 価	金 額	備 考
自民改革会議様ホームページ				
2025年3月分サーバレンタル・更新管理費	1 式	22,000	22,000	
政務活動費管理システム				
2025年3月分保守サポート費用	1 式	30,000	30,000	
合計(税無)			¥52,000	
消費税(10%)			¥5,200	
総計(税込)			¥57,200	

備考:

振込先: 静岡銀行さがせ支店 (普) 0480639 イマクロデザイン 小池敏彦

領 収 書

2025年3月31日

自民改革会議 様

Imacro Design 
イマクロ デザイン
〒435-0006 静岡県浜松市中央区下石田町136
TEL 053-422-7017 担当者 小池敏彦

下記の通り領収いたしました。

登録番号 T9810734041087

合計金額 **¥33,000 (内消費税 ¥3,000)**

収入

印紙

(以下明細)

商品名	単価	数量	金額
2025年3月分 政務活動費管理システム保守サポート費用	30,000	1	¥30,000

税抜合計金額 ¥30,000

内消費税額(10%) ¥3,000

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内 容	事務用品購入料 3月分		
年 月 日	令和7年3月31日 ～ 令和 年 月 日	金 額	32,146 円

目 的	_____
使 途	_____
政務活動・ 県政との 関 連 性	_____
《領収書貼付枠》 31,816 円+330 円 (振込手数料) = 32,146 円	

案分の理由 全て政務活動	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	32,146 円	100%	32,146 円

処理日時 2025年03月26日 09時22分54秒

■取引情報

取引ID	250326000032128
受付番号	0326003
取引種別	振込振替
振込指定日	指定日 03月31日
取引名	03月26日作成分
振込メッセージ	—

■振込元情報

支払口座	
------	--

■振込先口座

振込先金融機関	静岡銀行 (0149)
振込先口座	藤枝駅支店 (166) 普通 0128539
受取人名	カシムラウラボウ
登録名	株島村麿文堂

■振込金額

入金金額	31,816円
税込手数料	330円
引落合計金額	32,146円

■依頼者情報

依頼者	
依頼日	2025年03月26日

■承認者情報

承認者	
承認期限	2025年03月31日
承認日時	2025年03月26日 09時22分
コメント	文房具 (R7.3/20 〆切分)

振込依頼を受付けました。
振込依頼は 3月31日扱いです。

No. 45747.49239

領 収 証

電子領収書に
つき印紙不要自民改革会議 様

金額

¥31,816

係 印



但 文具代

上記金額正に領収致しました

日付 2025年3月31日

内 訳

☐	現 金	円
☐	小 切 手	円
☐	手 形	円
☒	振 込	円
☐	相 殺	円

オフィス用品専門店
株式会社 島 利 勝 文 堂
代表取締役 島 利 勝 武 慶
静岡県静岡市清水区1丁目15-8
TEL (054) 6 3 5-1 3 0 5(代)
FAX (054) 6 3 5-1 3 0 9

smartoffice 請求明細書

3-6

1/2

〒420-0853

株式会社 島村膳文堂

静岡県静岡市葵区追手町9-6

登録番号 T6080001016445

自民改革会議

〒426-0061

静岡県藤枝市田沼1丁目15番8号

御中

TEL: 054-635-1305

FAX: 054-635-1309

TEL: [REDACTED]

FAX: [REDACTED]

当月ご請求金額 31,816 円

軽減税率(8%)対象商品は商品名の頭に「※」がつきます。

月日	伝票番号	注文 コード	商品名	税率	数量	単価 (税抜き)	金額 (税抜き)	行コメント
25/03/03	43389857	325372	コピーペーパー 中性紙 A4 5000枚 A020J スマートバ	10	1	3,892	3,892	
			伝票コメント:					
			担当者: 自民改革会議 様			伝票計	3,892	
25/03/03	43390235	179146	ホワイトボードマーカー細字青H007J-BL スマートバ	10	2	50	100	
		334495	JETSTREAM0.5mmSXN15005.15 白軸/赤 三菱鉛筆	10	1	114	114	
		334499	JETSTREAM0.5mmSXN15005.33 白軸/青 三菱鉛筆	10	1	114	114	
		454160	ネーム6用カートリッジ 2本入 XLR-9 藍 シヤチハタ	10	1	279	279	
		553988	ボックスファイル FL-099BF A4E 青 10冊 プラス	10	1	1,241	1,241	
		553989	ボックスファイル FL-099BF A4E 濃灰 10冊 プラス	10	1	1,241	1,241	
			伝票コメント:					
			担当者: 自民改革会議 様			伝票計	3,089	
25/03/04	43395123	175162	修正テープ モノYX カートリッジ CT-YR4 トンボ鉛筆	10	2	185	370	
			伝票コメント:					
			担当者: 自民改革会議 様			伝票計	370	
25/03/04	43395124	325374	コピーペーパー高白色 A4 5000枚 A040J スマートバ	10	1	3,892	3,892	
			伝票コメント:					
			担当者: 自民改革会議 様			伝票計	3,892	
25/03/19	43439513	160891	クリアーホルダーA4乳白100枚 D400J スマートバ	10	1	942	942	
		260483	インデックスA4S 6色12山 5組 D027J-12Y ジョインテ	10	9	686	6,174	
		87238	カットフォルダー 4山 FL-064IF A4 桃 プラス	10	7	280	1,960	
		199758	保存ファイル 4375 A4S 50mm 灰/青 キングジム	10	1	386	386	
		395050	手書きもできるラベル インデックス中26205 エーワン	10	1	272	272	
		353381	テブラPROテープ SS12K 白に黒文字 12mm キングジム	10	2	800	1,600	
			伝票コメント:					
			担当者: 自民改革会議 様			伝票計	11,334	
25/03/19	43439514	87237	カットフォルダー 4山 FL-064IF A4 黄 プラス	10	1	280	280	
		525722	リングファイル F-877-7 A4S 36mm 水 LIHIT	10	1	341	341	
		261117	フラットファイル 021NW A4S グレー 10冊 プラス	10	1	744	744	
		353382	テブラPROテープ SS18K 白に黒文字 18mm キングジム	10	1	1,090	1,090	
			伝票コメント:					
			担当者: 自民改革会議 様			伝票計	2,455	
25/03/19	43440544	325374	コピーペーパー高白色 A4 5000枚 A040J スマートバ	10	1	3,892	3,892	

smartofficeのご利用ありがとうございました。

軽減税率(8%)対象商品は商品名の頭に「※」がつきます。

smartofficeのご利用ありがとうございました。

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内 容	プロバイダー料 3月分		
年 月 日	令和7年3月31日 ~ 令和年 月 日	金 額	3,850 円

目 的	_____
使 途	_____
政務活動・ 県政との 関 連 性	_____
《領収書貼付枠》 3,520 円+振込手数料 330 円=3,850 円	

案分の理由 全て政務活動	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	3,850 円	100%	3,850 円

処理日時 2025年03月26日 09時19分07秒

■取引情報

取引ID	250326000028923
受付番号	0326001
取引種別	振込振替
振込指定日	指定日 03月31日
取引名	03月26日作成分
振込メッセージ	—

■振込元情報

支払口座	
------	--

■振込先口座

振込先金融機関	静岡銀行 (0149)
振込先口座	草薙支店 (147) 普通 0645922
受取人名	カ)トコちゃんねるカ
登録名	(株)トコちゃんねる静岡

■振込金額

入金金額	3,520円
振込手数料	330円
引落合計金額	3,850円

■依頼者情報

依頼者	
依頼日	2025年03月26日

■承認者情報

承認者	
承認期限	2025年03月31日
承認日時	2025年03月26日 09時19分
コメント	プロバイダー料金 (R7.3月分)

振込依頼を受付けました。
振込依頼は 3月31日扱いです。

〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6

適格請求書発行事業者登録番号 T1080001002664

自民改革会議 御中



請 求 書

自民改革会議 御中

請求No. 2025030086

2025年3月7日

〒424-0888 静岡市清水区中乙郷2-1-5
株式会社 トコちゃんねる静岡

TEL054-347-9811 (代表)

下記の通り御請求申し上げます。

請求金額

¥3,520 -

摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額
ひかりファミリー隼コース(月払) 2025年03月分	2	ID	¥1,600	¥3,200
小 計				¥3,200
消 費 税 (10 %)				¥320
合 計				¥3,520

お支払いは下記銀行弊社口座へ2025年4月 末迄にお振り込み下さい。

静岡銀行 草薙支店

口座番号 普通口座 No. 0645922

口座名義 株式会社トコちゃんねる静岡

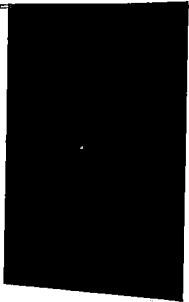
※振込手数料につきましては、貴社負担にてお願いいたします。

※ご請求内容についてお問合せの際は「アクロス請求書について」とご申告ください。

支 出 証 拠 書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・事務局)

経 費 項 目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内 容	静岡銀行 Web・PCバンキング利用料、データ伝送利用料 3月分		
年 月 日	令和7年 4月 15日～ 令和 年 月 日	金 額	5,500 円

目 的	_____					
使 途	_____					
政務活動・ 県政との 関 連 性	_____					
《領収書貼付枠》						
	年 月 日	記号	お支払い金額	お預かり金額	差し引き残高	備 考
1						
2						
3						
4	07-04-15	BF	3-8 (*1,650	WEB-PCデスクリヨウ		
5	07-04-15	BF	*3,850	データ伝送		
6	07-04-21	BF	3-11 *3,967	RL)リコーシャハポン		
7	07-04-21	BF	3-10 *151,929	RL)リコーシャハポン		
8						
9						

案分の理由 全て政務活動	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	5,500 円	100%	5,500 円

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内 容	電話料 1 月分		
年 月 日	令和 7 年 3 月 31 日～ 令和 年 月 日	金 額	7,106 円

目 的	_____
使 途	_____
政務活動・ 県政との 関 連 性	_____

※納付場所等は裏面を御覧下さい。

静岡県 納入通知書兼領収書 公

420-8601 13
静岡県静岡市葵区追手町
9-6

自民改革会議 代表 相坂 摂治
(電話料金) 様

年 度	令和 6 年度	会計科目	会計 01 款 14 項 07 目 02 節 08
収納機関 番号	22000	納付番号	24000 01011 01000 56405
調定番号	2401388-	1	確認番号 061355 納付区分 315
金 額	7,106 円	納期限	令和 7 年 3 月 31 日

所属名 (連絡先) 経営管理部 総務課 電話: _____
ただし 県庁舎管理費負担金
NTT 電話使用料 (令和 7 年 1 月分)

上記の金額を納期限までに納めてください。
令和 7 年 3 月 17 日

静岡県知事

指 定
静岡県指定代理金融機関
収納代理

上記の金額を領収しました。

領収日付印

出納済

7. 3. 31

静岡銀行
県 庁

ゆうちょ銀行・郵便局の窓口又はＡＴＭでお支払いの場合は、左側二枚をお出しください。

案分の理由 全て政務活動	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	7,106 円	100%	7,106 円

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内 容	コピーカウント料 3/20 検針分		
年 月 日	令和 7年4月21日～ 令和 年 月 日	金 額	151,929 円

目 的	資料等のコピー
使 途	令和7年3月分 カウント料
政務活動・ 県政との 関 連 性	政務活動に関する資料作成
《領収書貼付枠》 通帳の号は 3-8 に添付	

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動	151,929 円	/	151,929 円
		100%	

3-10

RICOH

発行日 2025年 4月26日

領収証No. BAJ073

領収証

自民改革会議 様

いつもリコー商品をご愛顧いただきましてありがとうございます。
2025年 4月21日にお支払いいただきました代金の領収証を
お送りいたしますのでご査収ください。

領収種別 自振

金額

¥151,929

但し、商品代として

印紙税申告納
付につき大森
税務署承認済

リコージャパン株式会社
東京都大田区中馬込一丁目

(お問合わせ)

部 門 請求書お問い合わせ窓口

TEL 0120-611-099

※当社ではこのフォームでの領収証には、黒色の印鑑を使用しております。
※金額等を訂正したものは無効とします。
※再発行は出来ませんので、大切に保管願います。
※入金取消し等の連絡があった場合、本領収証は無効となります。

ご 請 求 書
(兼 振替予定金額のお知らせ)

RICOH

420-8601
静岡県静岡市葵区追手町
9-6 静岡県庁本館3F

自民改革会議 様

3-10

ページ: 0001/0003
発行日 2025年03月21日 請求No. 25033515007
登録番号: T1010001110829
お問合わせ 請求書お問い合わせ窓口
吹田市江の木町34-5



TEL: 0120-611-099 5010315 50100152
※電話番号のお掛け間違いにご注意ください

321AKA1003357# 005219 0001/0003

お客様コード

下記の通りご請求申し上げます。

2025年03月20日締分 振替口座は右記の通りです。

今回ご請求金額(税込) 151,929 円

2025年04月21日に上記金額を振替させていただきます。

【お取引明細】

月 日	商 品 名	伝票No.	数 量	単 価	お買上金額 [税 抜]	消費税金額
		ご発注No.・備考				
03.04	RICOH MP Pトナー ブラック C3503	529860	1	0	0	--
		設置先: 自民改革会議				
03.05	RICOH MP Pトナー イエロー C3503	805366	1	0	0	--
		設置先: 自民改革会議				
03.20	IMC3000 パフォーマンスチャージ	151001			4,668	--
		03/10 シメ				
03.20	IMC3000 パフォーマンスチャージ	151002			22,213	--
		03/10 シメ				
03.20	IMC3500 パフォーマンスチャージ	151003			40,351	--
		03/10 シメ				
03.20	IMC3500 パフォーマンスチャージ	151004			70,886	--
		03/10 シメ				
	お買上金額 合計	(税込)	151,929)		138,118	13,811
	—	10%対象 (税込)	151,929)		138,118	13,811

【お知らせ】

お問合せの際は、請求書右上の請求Noをお伝え下さい。お振込の場合は手数料ご負担をお願い致します。手数料不要の口座引落もご用意しております。

■ サービス料金計算明細

<伝票No 151001 >
・ トナー込み契約です。

IMC3000
機番: 624150

モノカラー総出力
フルカラー総出力 ①
フルカラーコピー (①-②)
フルカラープリント ②

今回検針内容
3月10日

13,928 枚
9,186 枚
1,986 枚
7,200 枚

前回検針内容
2月10日

13,534 枚
8,929 枚
1,940 枚
6,989 枚

ご使用カウント

394 枚
257 枚
46 枚
211 枚

パフォーマンスチャージ

モノカラー総出力
控除 1%の控除カウント
請求カウント
1 - 2000 / 月
フルカラーコピー
控除 1%の控除カウント
請求カウント
1 - 1000 / 月
フルカラープリント
控除 1%の控除カウント
請求カウント
1 - 1000 / 日

単価/金額

2.3円

15.6円

13.1円

カウント/月/率

394枚
4枚
390枚
390枚
46枚
1枚
45枚
45枚
211枚
3枚
208枚
208枚

内訳金額

897円

702円

2,724円

1.3 目的

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <u>事務費</u> ・事務所費・人件費		
内 容	事務用品購入代 (コピー用紙代)		
年 月 日	令和7年 4月 21日 ~ 令和 年 月 日	金 額	3,967 円

目 的	_____
使 途	_____
政務活動・ 県政との 関 連 性	_____

《領収書貼付枠》

通帳の写いは 3-8に添付

案分の理由 全て政務活動	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	3,967 円	100%	3,967 円

3-1/

RICOH

発行日 2025年 4月26日

領収証No. BAJ074

領収証

自民改革会議 様

いつもリコー商品をご愛顧いただきましてありがとうございます。
2025年 4月21日にお支払いいただきました代金の領収証を
お送りいたしますのでご査収ください。

領収種別 自振

金額

¥3,967

但し、商品代として

印紙税申告納
付につき大森
税務署承認済

リコージャパン株式会社
東京都大田区中馬込一丁目

(お問合わせ)

部 門 請求書お問い合わせ窓口

TEL 0120-611-099

※当社ではこのフォームでの領収証には、黒色の印鑑を使用しております。
※金額等を訂正したものは無効とします。
※再発行は出来ませんので、大切に保管願います。
※入金取消し等の連絡があった場合、本領収証は無効となります。

ご 請 求 書
(兼 振替予定金額のお知らせ)

RICOH

420-8601
静岡県静岡市葵区追手町
9-6 静岡県庁 本館 3階

自民改革会議 様

3-11

ページ:0001/0001

発行日2025年03月21日 請求No. 25033515008

リコージャパン株式会社

登録番号:T1010001110829

お問い合わせ 請求書お問い合わせ窓口

吹田市江の木町34-5



|||||01000404# 000404 0001/0001

321AKA1000404# 000404 0001/0001

お客様コード

下記の通りご請求申し上げます。

2025年03月20日締分 振替口座は右記の通りです。

今回ご請求金額(税込) 3,967 円

2025年04月21日に上記金額を振替させていただきます。

【お取引明細】

月 日	商 品 名	伝票No.	数 量	単 価	お買上金額 [税 抜]	消費税金額
03.03	LB WHITE A4T 500X10 ケース	N74272	1	3,607	3,607	-
お買上金額 合計		設置先: 自民改革会議		(税込)	3,967	361
—		10%対象		(税込)	3,967	361

【お知らせ】

お問合せの際は、請求書右上の請求Noをお伝え下さい。お振込の場合は手数料ご負担をお願い致します。手数料不要の口座引落もご用意しております。

振替銀行 支店 種類 口座番号

--	--	--	--

支 出 証 拠 書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

経 費 項 目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・ <u>人件費</u>		
内 容	事務員雇用 3月分		
年 月 日	令和7年3月31日 ~ 令和 年 月 日	金 額	475,080 円

目 的	_____
使 途	_____
政務活動・ 県政との 関 連 性	_____
《領収書貼付枠》	

案分の理由 全て政務活動	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	475,080 円	100%	475,080 円

@ 475.080

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・ 人件費		
内 容	社会保険料事業主負担分 2月分		
年 月 日	令和7年 3月 31日 ~ 令和 年 月 日	金 額	73,128 円

目 的	_____
使 途	_____
政務活動・ 県政との 関連性	_____

《領収書貼付枠》

納入告知書 納付書* 領収証書

国庫金

厚生保険

年度	年金特別会計	内閣府及び厚生労働省管	取扱庁番号	取扱庁名
6	0343	6375	00064145	厚生労働省年金局(静岡)
納付 目的 月 令和 7年 2月分 納付 期限 令和 7年 3月31日 右記の とおり 納付し てくだ さい。 令和 7年 3月19日	健 康 勘 定 健 康 保 険 料 54960 円	厚 生 年 金 勘 定 厚 生 年 金 保 険 料 87840 円	子 ども ・ 子 育 て 支 援 勘 定 子 ども ・ 子 育 て 拠 出 金 1728 円	納付目的 健康保険料 厚生年金保険料 子ども・子育て拠出金 令和 6年度 内閣府及び厚生労働省管 年金特別会計
事業所整理記号	事業所番号	うち証券受領	証券受領	合 計 額
00500	122439010002	4230742825	全部 一部	千 百 十 億 千 百 十 万 千 百 十 円 ¥ 1 4 4 5 2 8
納入場所	日本銀行本店、支店、代理店、歳入代理店又は日本年金機構 静岡 年金事務所	420-8601 静岡市 葵区 追手町 9-6	自民改革会議	様
延滞金の 計算方法	期限内に完納されなかったときは、延滞金の納付を要します。 (健康保険法第181条、同法附則第9条、厚生年金保険法第87条、 同法附則第17条の14、子ども・子育て支援法第71条) 弁済の充当は、元本に充て、次いで延滞金に充てる。			
歳入徴収官	厚生労働省年金局事業管理課長			
				上記の合計額を領収しました。 (領収日付等) 出納済 7. 3. 31 静岡銀行 県庁 (納付者渡し)

年金事務所の窓口以外で、日本年金機構の職員がこの領収証書により領収することはありません。
この納入告知書(納付書)はPay-easy(ペイジー)対応のATM、インターネットバンキング等を利用して納付することができます。

翌年度5月1日以降現年度歳入組入

案分の理由 全て政務活動	領収書金額(a) 73,128 円	案分率(b) 100%	政務活動費支出額(a×b) 73,128 円
-----------------	----------------------	----------------	---------------------------

@ 71.400

支 出 証 拠 書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

経 費 項 目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内 容	会派視察 香港 3月18日～22日 9名分		
年 月 日	令和6年 4月 2日 ～ 令和 年 月 日	金 額	3,710,550 円

目 的	報告書参照
使 途	視察代
政務活動・ 県政との 関 連 性	報告書参照
<<領収書貼付枠>> $3,710,000 \text{ 円} + \text{振込手数料 } 550 \text{ 円} = 3,710,550 \text{ 円}$	

案分の理由 全て政務活動	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	3,710,550 円	100%	3,710,550 円

処理日時 2025年04月02日 09時59分09秒

■取引情報

取引ID	250402000034994
受付番号	0402002
取引種別	振込振替
振込指定日	操作日 04月02日
取引名	04月02日作成分
振込メッセージ	—

■振込元情報

支払口座	
------	--

■振込先口座

振込先金融機関	みずほ銀行 (0001)
振込先口座	東武支店 (644) 当座 8497656
受取人名	トプツアーズ (カ)
登録名	東武トップツアーズ(株)

■振込金額

入金金額	3,710,000円
税込手数料	550円
引落合計金額	3,710,550円

■依頼者情報

依頼者	
依頼日	2025年04月02日

■承認者情報

承認者	
承認期限	2025年04月02日
承認日時	2025年04月02日 09時59分
コメント	会派視察(香港 3/18~22 9名)

振込依頼を受付けました。

2025 年 3 月 31 日

自民改革会議 御中

東武トップツアーズ株式会社

登録番号 T4013201004021

静岡支店

420-0859

静岡市葵区栄町3-1

あいおいニッセイ同和損保静岡第一ビル10階

TEL : 05090019697 FAX : 054-252-9509

担当者

発行者

請求書番号

ログインコード

請求書 [INVOICE]

毎度格別のお引立てを賜り厚くお礼申し上げます。

下記の通りご請求申し上げます。

香港視察

2025 年 3 月 18 日 ご出発

お支払期限

2025 年 4 月 25 日

代金合計		消費税区分による代金内訳		お預かり金	差引ご請求金額
	課税8%	¥0	内税額	¥0	¥3,710,000
¥3,710,000	課税10%	¥0	内税額	¥0	
	8%(軽減)	¥0	内税額	¥0	
内消費税合計	¥0	¥3,710,000	不課税		
	免税	¥0	非課税	¥0	

代金内訳

[illegible]

*お振込みの場合は下記の口座にお振込み下さい。

当座 8497656 東武トップツアーズ株式会社

※お振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。 ※お振込金受取書をもって当社の領収証に代えさせていただきます。

クレジットでご精算される場合、URLまたは二次元バーコードより決済サイトに接続してください。

URL : <https://lobutoplours.jp-pay.jp/>

尚、クレジットカードでの精算は、本請求書の発行の翌日から決済が可能となりますので、予めご了承下さい。



令和7年3月14日

ご旅行代金内訳書(海外受注型企画旅行用)

自民改革会議様

観光庁長官登録旅行業第888号



東武トッププラザ



静岡支店

静岡県静岡市葵区栄町3-1

代表電話 050-9001-9697

支店長

総合旅行業務

取扱管理者

担当者

令和7年3月14日 作成の別紙旅行条件書による旅行代金の内訳については
下記の通りでございます。

団体名	自民改革会議 香港視察研修					
算出人員	9名	旅行先	香港・マカオ・深圳	旅行期間	発着	2025年3月18日 (火) 2025年3月22日 (土)
種別	数量	単価(円)	金額(円)	摘要		
航空運賃	9	85,000	765,000	静岡～香港 往復		
空港税	9	1,550	13,950			
空港税	9	5,580	50,220			
燃油サーチャージ	9	11,000	99,000			
宿泊費用	9	21,500	193,500	1泊目 朝食付き		
宿泊費用	9	21,500	193,500	2泊目 朝食付き		
宿泊費用	8	21,500	172,000	3泊目 朝食付き		
宿泊費用	8	21,500	172,000	4泊目 朝食付き		
現地交通費(ガイド含む)	1	130,000	130,000	1日目		
現地交通費(ガイド含む)	1	320,000	320,000	2日目		
現地交通費(ガイド含む)	1	428,000	428,000	3日目※マカオフェリー代等含む		
現地交通費(ガイド含む)	1	420,000	420,000	4日目		
現地交通費(ガイド含む)	1	85,000	85,000	5日目		
入場料	8	6,000	48,000	マカオタワー		
添乗員費用	1	350,000	350,000			
現地通訳	1	270,000	270,000	2日目 香港エクスプレス社		
端数調整	1	-170	-170			
ご旅行代金計			3,710,000	(お1人あたり)	412,222 円	

航空会社の定める付加運賃料金(燃油サーチャージ)の額が変更された場合、増額になったときはその不足分を徴収し、減額のときはその分を返金します。

上記旅行代金の内訳は、企画旅行契約に基づく当社の販売価格です。

上記企画料金は、旅行業法によりその収受が認められており、弊社の場合、旅行費用の20%以内となっております。

添乗員費用は添乗員が同行する場合に必要な交通費、宿泊費等の実費です。

上記代金には課税対象額に対する10%の消費税相当額が含まれております。

ご旅程

「香港視察旅行」[4泊5日]

3-14



自民改革会議 様

東武トップツアーズ株式会社 静岡支店

旅行日：2025年3月18日(火)～3月22日(土)

旅行先：香港方面 人数：9名+添乗員1名

支店長：
総合旅行業務取扱管理者：
担当者：

日次	月日	都市名	時間	交通機関	行 程	食事	宿泊・備考
①	3/18 (火)	静岡空港 香港	11:30 14:45 18:40	UO-0865 専用車	静岡空港集合 空港内で施設、航空会社に関するレク 空港内で各自昼食 出国手続き後、香港エクスプレスにて空路香港へ 香港着 専用車にて夕食会場へ 夕食：広東料理	朝：－ 昼：× 夕：○	香港泊
②	3/19 (水)	香港	8:50 10:00 12:00 13:30 15:00 18:30	専用車	朝食：ホテル 専用車にて視察 香港エクスプレス社 昼食：レストラン 在香港日本国総領事館 ホテル着 夕食：潮州料理	朝：○ 昼：○ 夕：○	香港泊
③	3/20 (木)	香港 マカオ 香港	7:30 8:30 9:30 16:00 17:00 18:30	専用車 高速船 専用車 高速船	朝食：ホテル ※増田先生離団 専用車にて港へ移動 高速船にてマカオへ移動 マカオ到着。 マカオ市内視察 ※マカオタワー、セドナ広場など 昼食：レストラン 視察後港へ移動 高速船にて香港へ 香港到着 夕食：四川料理	朝：○ 昼：○ 夕：○	香港泊
④	3/21 (金)	香港 深圳 香港	9:00 17:00 18:30	専用車	朝食：ホテル 専用車にて深圳へ 深圳市内視察 テンセント本社、ドローン旗艦店 ファーウェイ旗艦店、華強北市場 ハマスーパーマーケット 昼食：レストラン ホテル着 夕食：北京料理	朝：○ 昼：○ 夕：○	香港泊
⑤	3/22 (土)	香港 静岡	6:30 8:55 13:45	専用車 UO-0894	朝食：ボックスタイプ 専用車にて香港空港へ 出国手続き後香港エクスプレスで空路静岡へ 静岡空港到着 入国手続き後、解散	朝：○ 昼：×	

令和6年度 自民改革会議
静岡空港香港航路就航記念訪問
視察報告書

香港、マカオ、深圳

令和7年3月18日（火）～令和7年3月22日（土）



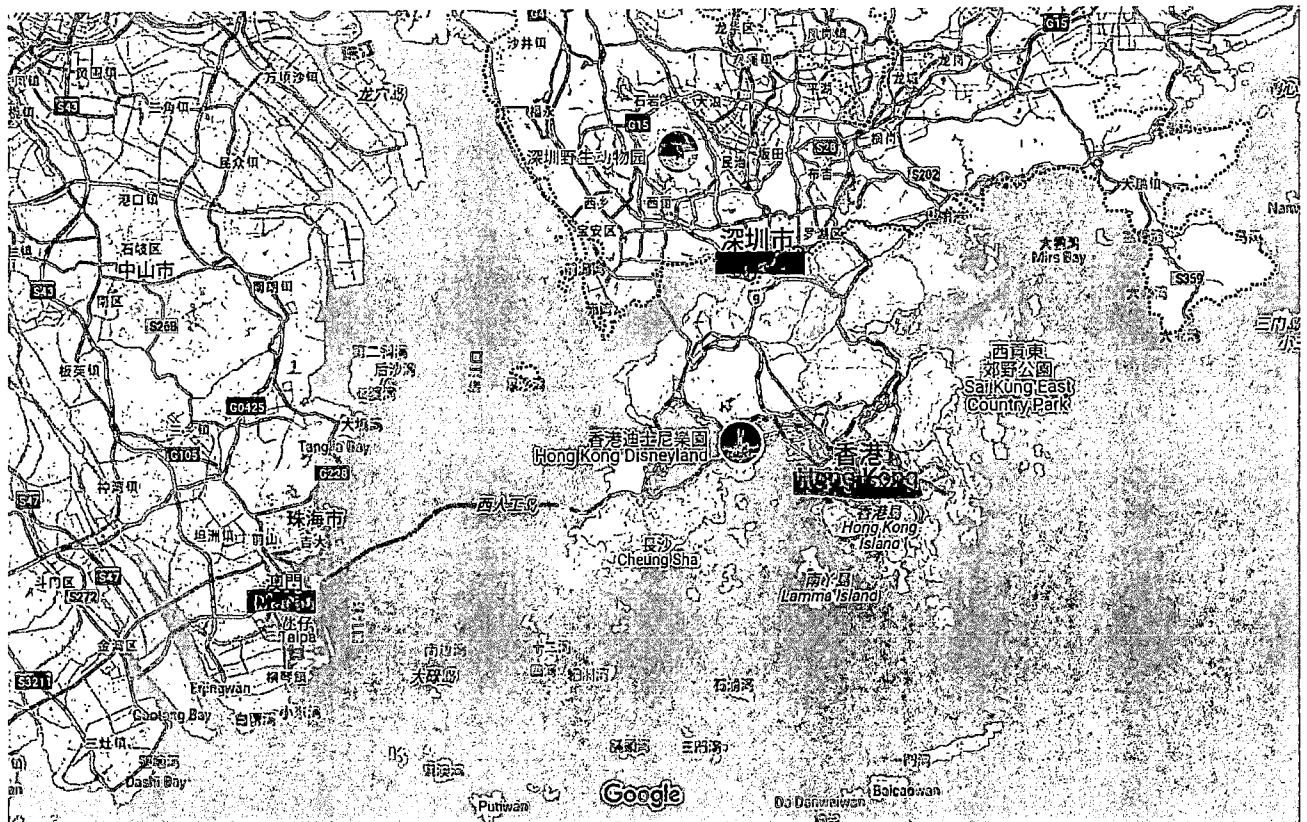
令和7年 静岡空港香港航路就航記念訪問

視察報告書

訪問の概要

令和6年12月に新たに就航した静岡－香港線（香港エクスプレス）は、静岡空港と香港を結ぶ初の定期旅客便であり、静岡県にとって重要な国際交流・経済活性化の機会をもたらすものです。この新路線の有効活用を図り、県内産業の振興、観光誘致の促進、地域経済への波及効果を高めるため、香港を中心とする近隣都市であるマカオ・深圳における関係機関等との意見交換および現地調査を行うことを目的とする。

訪問地 地図



1 訪問日程

令和7年3月18日(火)～22日(土) 4泊5日

※詳細は行程参照。

利用航空便

① 往路 (3/18):静岡空港 14:45 発→香港国際空港 18:40 着 (UO-0894)

② 復路 (3/22): 香港国際空港 08:55 発→静岡空港 13:45 着 (UO-0865)

2 訪問団の構成

区分	名 前	職名等
議員	植田 徹	富士市 団長
	増田 享大	掛川市 副団長 ※18日19日のみ
	河原崎 聖	島田市・川根本町
	坪内 秀樹	清水町
	飯田 末夫	浜松市中央区 幹事
	西原 明美	藤枝市
	勝俣 昇	御殿場市・小山町
	小沼 秀朗	掛川市
	加藤 祐喜	長泉町
県	石川 祐介	静岡県国際経済振興会上海事務所 所長 ※19日のみ

3 行程

日付	時間	行程等
3/18 (火)	11:30 14:45 18:40	県内各所より 静岡空港集合 空港内で施設、航空会社に関するレク 空路香港へ 香港着 専用車にてホテルへ
3/19 (水)	10:00 13:30	香港エクスプレス視察 在香港日本領事館視察 専用車にてホテルへ
3/20 (木)	7:30 9:30 15:30	専用車にて港へ移動 高速船にてマカオへ移動 マカオ到着、マカオ市内視察 ※マカオタワー、セドナ広場など 視察後、港へ移動 高速船にて香港へ 専用車にてホテルへ
3/21 (金)	9:00	専用車にて深圳へ 深圳市内視察 ※テンセント、DJI、ファーウェイなど 専用車にてホテルへ
3/22 (土)	8:55 13:45	専用車にて香港空港へ 空路静岡へ 静岡空港着 入国手続き後、解散

4 訪問記録

富士山静岡空港でのレクチャー

日時： 令和 7 年 3 月 18 日(火) 11:30~11:50

場所： 富士山静岡空港 会議室

目的： 香港視察出発前に、富士山静岡空港にて空港の現況と今後の展望についての事前説明を受け、空港の運営計画、利用者数の推移、国内外の路線展開、国際線の再開状況など、空港の戦略的方針を確認する。また香港エクスプレスの就航背景と利用状況の確認。

応対者：富士山静岡空港株式会社

代表取締役社長 西村 等

専務取締役

視察内容：

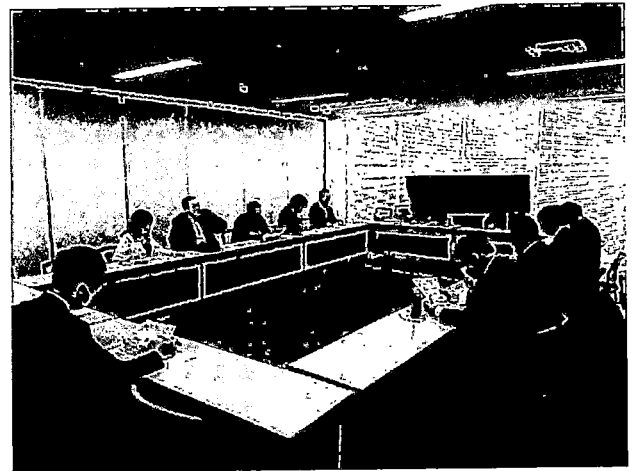
西村社長による説明

- 富士山静岡空港は、地域経済を牽引する「リージョナルランドマークエアポート」を目指しており、2019 年から 2038 年までの運営期間で年間旅客数 135 万人を目標としている。
- 将来的な空港ビジョンとして、旅客・見学者合わせて空港利用者数 200 万人の利用を目指し、供給先行型で路線と施設の整備を進めている。
- 国内線は徐々に回復傾向にあるが、国際線はコロナ後の需要回復が遅れており、空港の課題とされている。
- 空港ターミナルはすでに拡張され、現在は国際線 1 時間 1 便対応が可能。2024 年度は空港開港 15 周年にあたり、様々な施策を展開中。
- 静岡－香港線は令和 6 年 12 月に香港エクスプレスが週 3 便で就航。個人旅行者を中心に高い搭乗率を維持しており、今後の増便にも期待がかかる。
- 香港からの観光客は団体ではなく個人利用が主であり、レンタカーや公共交通を活用し、静岡

県内を広く巡っている傾向にある。

● 空港と観光地の連携、地域資源の磨き上げ、国際線回復に向けた柔軟な路線誘致が今後の鍵とされている。

今回のレクチャーにより、静岡空港の現状と展望について理解を深めるとともに、香港エクスプレスの就航を契機とした国際交流・観光振興の重要性を再確認する機会となった。視察の目的意識を持ち、現地との意見交換に臨むための貴重な事前学習であった。



香港エクスプレス視察

日時： 令和7年3月19日(水) 10:00~11:00

場所： 香港エクスプレス (International Airport, 8 Scenic Rd, Lantau Island, 香港)

目的： 静岡－香港線の就航により期待される双方向の人流拡大、観光誘致、ビジネス交流の可能性について意見交換を実施。運航状況、搭乗率、利用者傾向などの現状を把握するとともに、今後の便数増加や路線継続の可能性、プロモーション連携について確認。

応対者： [REDACTED] – General Manager, Corporate Planning (経営企画総経理)

[REDACTED] – Head of Corporate Affairs (企業事務部総監)

[REDACTED] – Senior Manager, Marketing (市場営業高級経理)

[REDACTED] – Manager, Sales (販売マネージャー)

[REDACTED] – Specialist, Network Planning and Corporate Affairs

(路線計画・企業事務専門員)

視察内容：

香港エクスプレスの冒頭挨拶（経営企画総経理：[REDACTED]）

●皆様の香港訪問に感謝申し上げます。昨年12月以降、静岡県から多くのサポートを頂いており、搭乗者も増えつつある。

●香港エクスプレスは、香港のみならずマカオ、深圳等を含む GBA（グレイター・ベイエリア）一帯からお客様を集客している。香港の人口は700万人超だが、GBAの人口は約7,000万人で、これら一帯を商圈として、搭乗者の4分の1を香港以外から集客している。

●当社ではこの1年半で50%以上の便数の増加を図るなど、日本各地への新規就航を積極的に進めているが、静岡県は富士山という最高の観光素材を持っており、有力な路線と認識している。

意見交換

●香港からのお客様の旅行手段や目的地について伺いたい。

（香港 Ex）⇒富士山静岡空港株式会社によれば、静岡線はレンタカー利用が好調と聞いている。1便で20台ほどの予約があるようで、1家族3名とすれば、計60名が利用している計算になる。香港は日本と同じ右ハンドルであるためレンタカーが利用しやすく、静岡県内や周辺地域にまで足を延ばして、自分のペースで観光・食事を楽しんでいる。

●御社の搭乗者増に向けた今後の取組方針や、浜名湖など浜松周辺の観光ニーズについて伺いたい。

（香港 Ex）⇒現在、搭乗者は香港人が多いので、日本から香港への誘客対策を強化する必要がある。静岡県内の魅力はインフルエンサー等を使って情報発信を図っているが、レンタカーを利用して県内各地を訪問して頂くためには、更なるPRが必要。

●香港は高層ビルが立ち並び、経済発展の状況に驚いている。静岡県はものづくり県でもあるが、経済分野での交流強化の可能性はあるか？また香港エクスプレスとしては、週3便から増便の見込はあるか？これまではニーズがあってもグランドハンドリングなど本県の受入側の理由で増便を断ったこともあると聞いている。県議団としても増便に向けて働きかけをしていきたいので、お力添えを頂きたい。

(香港 Ex) ⇒正直なところ、運行3か月では静岡路線を黒字化できておらず、現在は、販売価格を下げつつ多くの搭乗者に静岡を訪問して、インスタグラムなどSNSでの情報発信を頂くことで、静岡県の認知度の向上に努めている。週3→4→5→デイリーとなるように、当社としても尽力していく。香港人の日本での消費額は約14万円。1便で14万円×180人=2,520万円を日本で消費している計算になる。これがデイリーになれば、静岡県にとっても大きな経済効果が生まれる。

●静岡県のサポートに期待することはあるか？

(香港 Ex) ⇒まず県議の皆様在香港までお越しいただいたことが最大のサポートだと感じている。静岡は上海便があるが、(広州・深圳など) 中国大陸南部の路線はない。このため弊社がGBA全体の送客を担っていると自負している。現在、7～8月の夏休みシーズンに向けたチケット販売を始めているが、販売の出足が鈍く日本全体に対する観光ニーズがやや落ちている。理由ははっきりとはわからず様子を見ているが、関西万博があるのに販売が低調であることは我々も問題意識として持っている。日本において間もなく大きな地震があるという噂が出回り、販売低迷の一因となっているとの話も聞く。

●今回の話を伺って、香港・静岡線の安定化に向けては日本からの搭乗者増が必要だと理解した。この点においては、まだまだ静岡県内での路線PRが弱いと感じている。

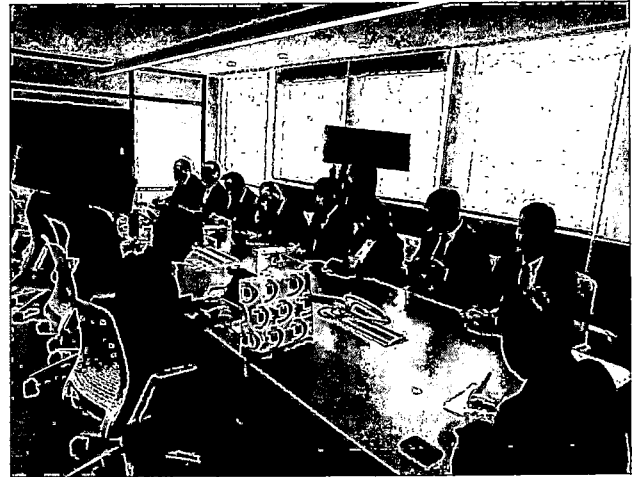
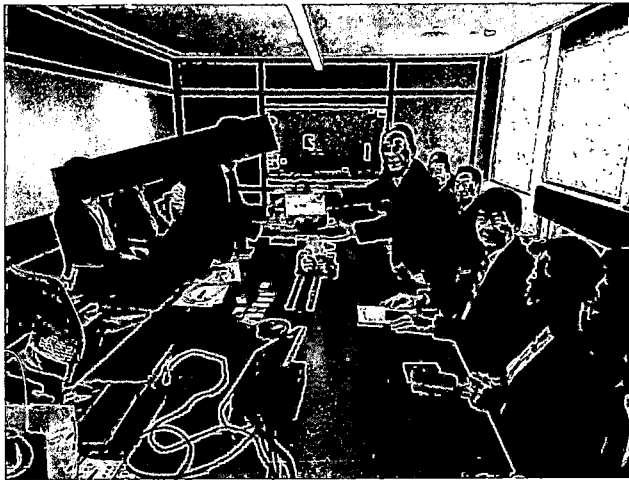
(香港 Ex) ⇒路線の安定化に向けては双方からの送客が重要。ぜひお力添えを頂きたい。

香港エクスプレスからの意見(市場営業高級経理: )

●12月の就航当初から3か月間で静岡線が良いスタートを切れたのは、ちびまる子ちゃんの版權を購入したことが大きな要因の1つだと感じている。この版權の継続も検討しているが、金額が高すぎる。版權は香港の代理店を通じて購入したが、継続的な利用は難しい。香港ではちびまる子ちゃんの認知度が高いことから、ぜひ静岡県全体でちびまる子ちゃんを用いた観光プロモーションを行い、香港エクスプレスが共同でPRをできないか。くまモンは熊本県の認知度向上に大きな役割

を果たしている。

(県訪問団) ⇒すぐに対応することは難しいが、こうしたご意見があることは承知した。



在香港日本領事館視察

日時： 令和 7 年 3 月 19 日(水) 13:30~14:30

場所： 在香港日本領事館 (46 - 47/F, One Exchange Square, 8 Connaught Place, Central, 香港)

目的： 静岡県と香港との交流拡大に向けた外交的支援・情報提供の可能性について意見交換。現
地における日本人・日系企業の状況、香港社会の動向、日本への旅行需要などについての
最新情報を収集。教育・文化・経済など、地方自治体と香港の多面的な連携の可能性につ
いて助言を得るとともに、今後の国際戦略に反映するため。

応対者：在香港日本国総領事館

経済部長領事 小松庸人、領事 根岸辰太郎、副領事 薬丸健太

視察内容：

在香港日本国領事館の冒頭挨拶（小松部長）

●まずは昨年 12 月の香港便新規就航をお祝い申し上げる。香港と静岡の交流が更に活発になるこ
とを期待している。まずは簡単ではあるが、香港の概況について説明させて頂く。

（香港の概要）

- 香港は東京都の半分くらいの面積(1,110 k m²)に人口 753.4 万人が暮らしている。失業率は 3.1%と低水準。一人あたり GDP は中国大陸 12,500 米ドルに対して香港 50,889 米ドルと高水準である。
- 中国の特別行政区として一国二制度の運用。ミニ憲法とも呼ばれる香港特別行政区基本法に基づき資本主義制度と生活様式を保持し、50 年間（2047 年まで）は制度を変えないと発表している。昨今リース物件は 2047 年以降も更新可能との情報が出ており、この一国二制度は今後も続いていくものと考えられる。
- 行政管理権、立法権、独立した司法権と終審権を維持し、イギリス人 2 名、オーストラリア人 4 名の非常任裁判官によるコモンロー制度は世界でも特筆すべき制度で、日本から勉強に来る若手の法律関係者もいる。他方、香港基本法、香港国家法など国家の安全等に関する解釈は北京（全人代常務委員会）が所管している。
- 2024 年の訪日香港人数は約 268 万人（香港人口の 3 割以上）で、訪日香港人の 4 割近くが 10 回以上日本を訪問している。現在、静岡、仙台、徳島、米子など新路線が立て続けに就航し、日本訪問の追い風になっている。
- 香港は、法人税 16.5%、所得税 15%と低水準で、消費税、配当税、キャピタルゲイン課税、相続税、関税がなく、海外企業にとっても参入しやすい環境である。
- 日本からの農林水産物・食品の輸出先として香港は第 2 位であり、水産物のみでは 1 位。現地には 1,403 社の日系企業が進出し、中国大陸の企業を除けば、日本企業が外資の中で最も多く進出している。
- 総領事館や在香港の日系企業は日本秋祭りなどのイベントを通じて、文化・経済分野の交流を深められるよう P Rを行っている。

意見交換

●香港人の4割近くが10回以上日本に訪問しているとのデータを見て驚いた。実際の肌感覚としてはどうか？また、香港からのインバウンドは、地方にもチャンスがあるか？

(領事館)⇒在香港日本総領事館の職員や周囲の友人・知人も年2～3回日本を訪問する方が多く、この数字は現実的なデータだと感じる。これまで香港人は東京、大阪、北海道など主要な観光地を訪問し、常に魅力的な訪問先を探しているのも、静岡県にとっては大きなチャンスである。また香港人が日本観光で最も楽しみにしているのが食事である。また温泉や、アクティビティラベル(トレッキング、マラソン等)の需要が高く、静岡県としてPRできる素材が沢山ある。また、香港人はオープンジョー(イン・アウトの空港が異なる形態)でのチケット購入が多く、東京・大阪・名古屋の代替空港としても有力である。

●アクティビティとしてゴルフの需要はあるか？伊豆半島には良いゴルフ場も多く、ぜひ誘客を勧めたい。

(領事館)⇒所得の高い方々や企業関係者はゴルフを楽しんでいる。香港にはイギリス由来のメンバーシップ制度があり、日本人であっても会員になれないコースもある。香港でもゴルフは経済効果が高いアクティビティとして、香港のゴルフ場に誘客しようとの動きがある。

●香港エクスプレスの訪問では、大地震が起こるとの噂から日本への旅行需要が減っているとの話があったが、それは本当か？

(領事館)⇒そのような噂は聞いたことはある。香港では地震がないので怖がる方がいる一方、どこにいても生活上のリスクはあると考える方、日本では防災対策をしっかりとっているので大丈夫と冷静に考えている方も多い。

●香港における関西万博の印象について伺いたい。

(領事館)⇒当館ではフェイスブックで日本のイベント等の情報発信を行っているが、直近の「いいね！」がついた記事の1番、2番が関西万博関連である。ガンダムを見に行きたい、高齢者介護

に関する展示を行う日本館に行ってみたいなど、様々な声を聴く。総領事館では、こうしたニーズに沿ってイベントの開催スケジュール等を案内している。

●日本秋祭りについて教えて欲しい。台湾での日本PRイベントは、日本の祭りをそのまま持ってくるような大規模なイベントだが、香港ではどうか？

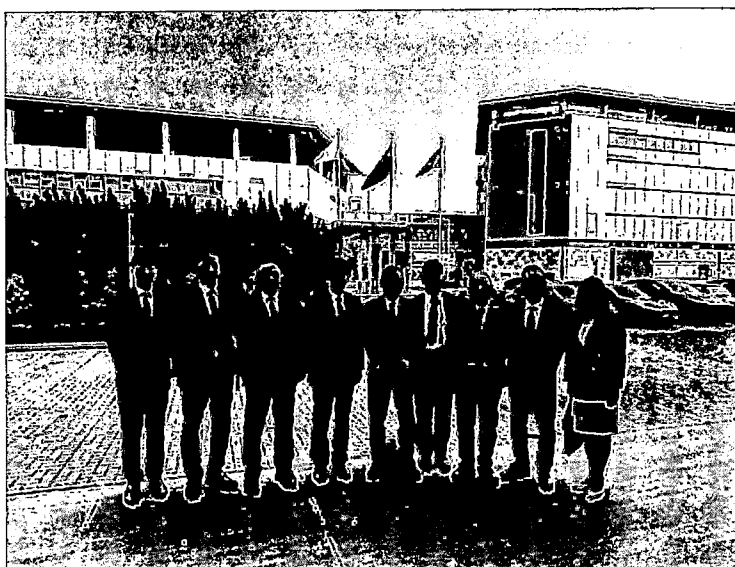
(領事館) ⇒総領事館や日系企業等による自主的なイベントであるため、そこまで規模が大きくはないが、他地域のイベント内容も情報収集して積極的に取り入れていきたい。

●静岡茶の販売を増やしたいが、香港では見込があるか？静岡県には1本2万円の高級ボトルティーも販売しているので、現地で高所得者層にもPRをしていきたい。

(領事館) ⇒香港は関税がなく、食品輸入に対する障壁も低いため日本茶も流通している。高級ボトルティーは知らなかったの
で、JETRO 香港と協力しながらPR していきたい。

●静岡県にはゴルフ場協会があるが、香港現地にも同様の協会があるか？こうした協会間での連携を深めることで相互の送客が図れないか？

(領事館) ⇒情報収集させて頂く。

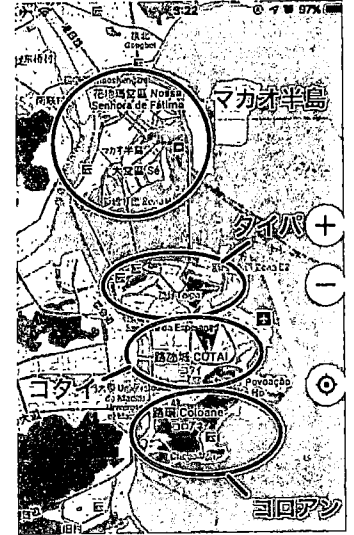


マカオ視察

日時： 令和7年3月20日（木）9:30～15:30

場所： マカオ（マカオ半島・タイパ）

目的： 今回の視察は、香港エクスプレスによる静岡と香港を結ぶ航空便のさらなる拡大と促進を目的とする。マカオは香港と高速船で1時間の距離にあり、かつてより日本人旅行者のお決まりコースである。この両地域を通じて、経済交流や観光振興を一層深めることを目指し、香港・マカオ市場の動向を直接確認し、観光や物流の可能性を探ることで、静岡県の実現に繋がる具体的な施策を検討する。また今後更なる増便には、静岡から香港へのアウトバウンド観光を増やすことで、互いに利益を享受できる「ウィンウィン」の関係性を築くことの重要性を再認識するため。



対応者： XXXXXXXXXX（コンコルド旅行者 技術主幹 マカオ在住25年）

視察内容：

視察では、以下の主要な重要施設地を訪れ、それぞれの歴史や魅力について学んだ。

<マカオについて>

マカオは中華人民共和国広東省に位置し、珠江の最下流域にある都市で、マカオ半島と埋め立てでつながったタイパ島、コロアネ島から構成されます。1999年までポルトガルの植民地だった歴史を持ち、2005年には「マカオ歴史地区」としてユネスコ世界遺産に登録された。域内にはカジノが多く、「東洋のラスベガス」として知られ、観光産業が盛んです。毎年11月に開催されるマカオグランプリも有名です。マカオと香港は高速船や港珠澳大橋で結ばれ、アクセスが便利で観光客が多く訪れます。

●聖ポール天主堂跡

マカオのランドマークであり、過去の繁栄を物語る歴史的遺跡。16 世紀に建設されたこの教会は、ポルトガルの影響を受けた美しいバロック様式の建築が特徴で、その外観は多くの観光客を魅了している。聖ポール天主堂跡は、マカオの歴史的変遷や異文化交流を象徴する場所であり、日本との関わりも持つことから、静岡県民には特に意味深いスポット。



●ザビエル城壁

フランシスコ・ザビエルが日本に初めてキリスト教を伝えた地として知られるこの場所は、宗教の布教活動における重要な舞台であり、日本とマカオの歴史的な繋がりを体感する良い機会となった。城壁の残骸を学ぶことで、キリスト教の影響を受けた地元文化に対する理解が深まった。

●St. Dominic's Church

美しいバロック様式の内装が施されたこの教会は、マカオの豊かな宗教文化を示す傑作。この教会は、ポルトガルの宗教的な影響だけでなく、地域住民の信仰心をも反映しており、観光客にとっても特別な場所である。

●セドナ広場

地元住民の生活や文化を肌で感じられるこの広場は、観光地としての中核をなす重要な場。広場には多くのカフェやショップが立ち並び、観光客と地元の人々が交錯する様子は、マカオの多様性を感じさせる。

●市 政 署

マカオの行政の中心であり、この地を統治する政治の重要性を理解する貴重な機会となった。歴史的背景を持つこの建物は、地域の政治や行政の変遷について考える材料を提供してくれた。



●ジョルジュ・アルバレス石像

マカオの歴史的人物を称えるこの石像は、地域の文化的背景を知る上で欠かせない存在。この像を前にすることで、静岡県民としても異文化との交流を深く意識することができた。

●媽 閣 廟

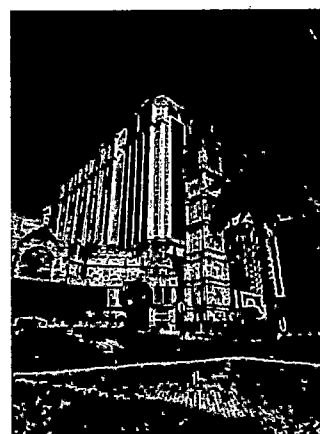
多くの観光客が訪れるこの神社は、地域住民の信仰文化を知る大切な場所。廟の神聖な雰囲気を経験する中で、静岡との信仰感の違いや共通点にも気づくことができた。

●Skypark Macau by Hackett

現代的なレジャー施設であり、特徴的なことはバンジージャンプ等の観光地としての新しい側面を体感した。観光地の進化を感じることができ、静岡の観光業界における新たな可能性を考えるきっかけとなった。

●Venetian Macao Casino

マカオを象徴するカジノ文化の中心地で、地域経済の活性化の一端を学ぶことができた。カジノの経済的影響を理解することで、観光業の重要性や、それを支える経済基盤についても考察を深めることができた。



今回の視察を通じて、マカオの豊かな歴史や文化、経済の動向を把握し、静岡県とのさらなる交流の可能性を探る貴重な機会となった。

また、世界中から観光客を引きつけるマカオの魅力やその取り組みに触れたことで、静岡県においてもインバウンド客をどのように取り込み、経済的効果を高めていくかの参考にすべき重要な示唆を得ることができた。半日の視察で大変数多くの名所めぐりができたことも、今後の観光ルートづくりに大変参考になった。

深圳視察

日時： 令和7年3月21日（金）10:00～15:30

場所： 深圳

目的： 中国有数の経済・技術都市であり、「中国のシリコンバレー」とも呼ばれるイノベーション都市・深圳において、スタートアップ支援、ハイテク産業育成、産学官連携の先進事例を調査。医療・バイオ・AI・スマートシティなど、静岡県が注力する分野との連携の可能性を探る。

対応者： XXXXXXXXXX（頂上旅行(香港)有限公司 深圳担当）

視察内容：

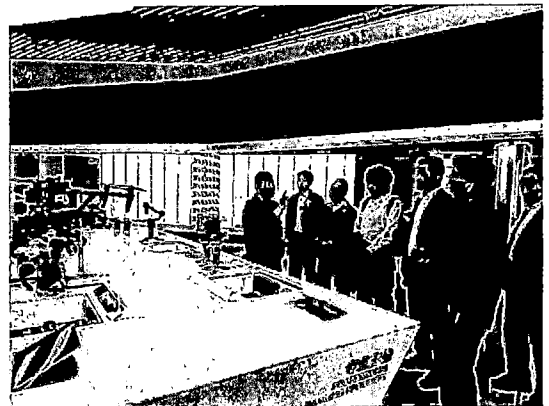
●テンセント・ホールディングス本社

テンセント（Tencent Holdings Ltd.）は、中国・深圳に本社を置く世界有数のIT企業で、1998年に設立されました。主力事業はSNS、オンラインゲーム、クラウドサービス、デジタル広告など多岐にわたり、代表的なサービスにはメッセージアプリ「WeChat（微信）」やゲーム「Honor of Kings」などがあります。中国国内だけでなく、世界中のテクノロジー企業への出資も積極的に行っており、アジアを代表するデジタル企業の一つとしてグローバルに影響を持っています。

外観より視察し近未来的な建築デザインと規模から、中国を代表するIT企業としての存在感を実感した。現地の都市開発と技術革新の象徴とも言える施設であった。

●DJIのドローン旗艦店（OCTハーバー）

DJI（大疆创新科技有限公司）は、2006年に中国・深圳で設立されたテクノロジー企業で、民生用ドローンの分野で世界をリードしています。主力製品には、空撮用ドローン、カメラスタビライザー、アクション



カメラなどがあり、映像制作や農業分野など多岐にわたる用途で使用されています。同社の製品は、その高性能と信頼性から、世界中のプロフェッショナルや一般ユーザーに支持されています。

DJI の旗艦店には、ドローンやカメラ機器など最新の製品が展示・販売されており、店内では製品のデモンストレーションや体験が可能で、技術サポートも提供されています。また、来訪者が実際に製品を試すことができ技術の進歩を肌で感じました。

●ファーウェイの大型旗艦店

ファーウェイ（Huawei）は、1987 年に中国・深圳で設立された世界有数の情報通信技術（ICT）およびスマートデバイスのプロバイダーです。約 20.7 万人の従業員を擁し、170 以上の国と地域で事業を展開、世界中で 30 億人以上のユーザーにサービスを提供しています。日本人であるファーウェイ・ジャパンは 2005 年に設立され、ICT、クラウド、デジタルパワー、スマートカーソリューションなど多岐にわたる分野で製品やサービスを提供しています。

深圳の大型商業施設にあるファーウェイの旗艦店を視察。広く洗練された空間に多様な製品が整然と並び、来店者の注目を集めていた。展示や接客を通じて、企業の成長ぶりと消費者からの高い関心を感じ取ることができた。

●華強電子市場

深圳市福田区の華強電子世界を視察。この市場は 1998 年に設立され、中国最大規模で製品種類も最も豊富な総合電子専門取引市場として知られています。広大な敷地内には数多くのブースが並び、電子部品から最新のデジタル製品まで多岐にわたる商品が取り扱われています。訪問時には、多くの来場者で賑わっており、中国の電子産業の活気とダイナミズムを肌で感じることができました。

●OMO スーパーマーケット盒馬鮮生（フーマーシェンシェン）アリババ

盒馬鮮生は、阿里巴巴（アリババ）グループが運営する新小売（ニューリテール）モデルのスーパーマーケットで、オンラインとオフラインを融合させた OMO（Online Merges with Offline）戦略を採用しています。店内では新鮮な生鮮食品や調理済み食品が豊富に取り揃えられ、顧客はスマートフォンのアプリを通じて商品情報の確認や決済が可能です。また、30 分以内の配送サービスも提供されており、効率的な物流システムが印象的でした。この視察を通じて、デジタル技術を駆使した革新的な購買体験と、消費者ニーズに応える柔軟なサービス提供の重要性を実感しました。



深圳では、テンセント本社、DJI 旗艦店、ファーウェイ大型店舗、華強電子市場、盒馬鮮生を視察。中国を代表する IT・テクノロジー企業や新小売モデルを実地に見ることで、都市の成長力と現場の活気を体感した。技術・流通・消費の最前線に触れ、静岡県産業振興や地域づくりへの示唆を多く得る視察となった。

県 外 調 査 概 要 書

令和 7 年 3 月 2 5 日

会派名・議員氏名 自民改革会議 植田 徹

目 的	昨年令和 6 年 1 2 月香港エクスプレス航空の就航を捉え、インバウンド拡大等を期すために相手先の現地調査(香港の概況や経済情勢等、マカオ情勢、中国本土の深圳情勢)を行い、県政策の充実を図る。
年 月 日	令和 7 年 3 月 18 日～令和 7 年 3 月 22 日
場 所	香港 マカオ 深圳
内 容	1 行程 2 応対者 3 聴取内容 上記 1～3 に関しては、別紙 会派視察報告書を参照。 4 県政への反映 香港エクスプレス航空の使用資材は A320neo (188 席) キャセイパシフィックグループの完全子会社で、週 3 往復便の就航。 香港は、中国(中華人民共和国香港特別行政区)の一国二制度にあり、社会主義の制度と政策を実施せず、従来の資本主義制度と生活様式を保持し、50 年間変えない政策である。中国本土とは異なる法制度・体系を維持。香港から日本への直接投資は対日投資国・地域の中で第 6 位。日本からの農林水産物・食品の輸出先として第 2 位。日本と香港の関係は良好である。 先ず特筆すべき事項は、香港がイギリス領だったことから交通体系が我が国と同一という事。香港の方々の訪日目的は、観光第一で、主にレンタカーで行動することが判明。関西や関東・東北方面に行く前後に静岡県としては、表富士から熱海、伊豆半島に宿泊していただく政策を強く打ち出したい。

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県 外 調 査 概 要 書

令和 7 年 3 月 20 日

自民改革会議 増田 享大

目 的	令和 6 年 12 月に就航した静岡空港・香港線の状況並びに県内産業振興に資する地域外交政策に関する調査
年 月 日	令和 7 年 3 月 18 日～20 日
場 所	香港
内 容	1 行程 2 応対者 3 聴取内容 に関しては 会派報告書参照、(3-14) 4 県政への反映 令和 6 年 12 月に就航した香港エクスプレス社による静岡空港・香港線により今後両地域間の交流は益々盛んになると思われる。 主には観光振興が目的でもあるが、県内産業振興にも資する地域外交政策が必要となってくると思われる。 香港エクスプレス社では、当初のマーケティング調査によれば十分採算が取れる見込みとの事だが、香港から静岡へのインバウンドに対し、静岡から香港へのアウトバウンドに関しては若干予想を下回っている状況であり、同社からも県に対し更なる支援を求められた。 現地ではアニメコンテンツに関する関心が高いことから、ちびまる子ちゃんなど本県独自のツールを活かした振興策がより求められ、更なる振興策の必要性を感じた。

* 本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県外調査概要書

令和7年4月4日

会派名・議員氏名 河原崎 聖

目 的	昨年暮れに富士山静岡空港に就航した香港エクスプレス訪問、香港・マカオ・深圳の事情調査
年 月 日	令和7年3月18日(火)~22日(土)
場 所	香港、マカオ、深圳
内 容	1 行程 2 応対者 3 内容 会派報告書のとおり 4 県政への反映 香港を訪れるのは、県議会の浙江省訪問団の時以来、6年ぶりになるが、高層ビルが林立し、さらなる発展具合に目を見張った。前回訪問した際に、香港住民の訪日熱が高いことは聞いていたが、この度富士山静岡空港との直行便が就航したことで、香港の人たちにいかに静岡を目的地にしてくれるかが重要になってきている。 その際に一つ重要な視点となるのがレンタカーの利用ということだろう。香港は、中国本土と違い、右ハンドルの車を利用しているため、レンタカー利用に対するハードルが低いことは有利な点と言え、実際に利用客は増えているそう。静岡空港を起点としたレンタカー利用の観光について魅力あるメニューを作ることで、県内の観光振興に寄与する可能性がある。 一方、気になったのは、今年夏の訪日予約が減っているということだ。7月に南海トラフ地震が発生するという噂が広がっているのが主な理由らしいが、観光振興にも地震対策が重要になると改めて感じた。

県外調査概要書

令和7年3月24日

会派名・議員氏名 自民改革会議 坪内秀樹

目的	令和6年12月に新たに就航した静岡－香港線（香港エクスプレス）は、静岡空港と香港を結ぶ初の定期旅客便である。香港を中心とする近隣都市であるマカオ・深圳における関係機関等との意見交換および現地調査を行う
年月日	令和7年3月18日～令和7年3月22日
場所	香港、マカオ、深圳
内容	1 行程 2 対応者 3 聴取内容 上記1～3に関しては、別紙「会派報告書」を参照。 4 県政への反映 令和6年12月に新たに就航した静岡－香港線（香港エクスプレス）は、静岡空港と香港を結ぶ初の定期旅客便である。今回はこの新路線を有効活用すべく、香港を中心とする近隣都市であるマカオ・深圳における関係機関等との意見交換および現地調査を行った。香港エクスプレス視察では運航状況、搭乗率、利用者傾向などの現状を把握するとともに、今後の便数増加や路線継続の可能性、プロモーション連携について確認し意見交換した。在香港日本領事館視察では静岡県と香港との交流拡大に向けた外交的支援・情報提供の可能性について意見交換。現地における日本人・日系企業の状況、香港社会の動向、日本への旅行需要などについての最新情報を収集した。マカオ視察については、マカオは香港と高速船で1時間の距離にあり、かつてより日本人旅行者の定番コースである。この両地域を通じて、経済交流や観光振興を一層深めることを目指し、香港・マカオ市場の動向を直接確認し、観光や物流の可能性を探ることで、静岡県の発展に繋がる具体的な施策を検討する。視察では、以下の主要な重要施設地を訪れ、それぞれの歴史や魅力について学んだ。深圳視察では中国有数の経済・技術都市であり、「中国のシリコンバレー」とも呼ばれるイノベーション都市・深圳において、スタートアップ支援、ハイテク産業育成、産学官連携の先進事例を調査した。 香港エクスプレスの新就航は静岡県にとって重要な国際交流・経済活性化の機会をもたらすものである。この新路線の有効活用を図り、県内産業の振興、観光誘致の促進、地域経済への波及効果を高めていきたい。

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県外調査概要書

令和7年3月30日

会派名・議員氏名 自民改革会議・飯田末夫

目的	富士山静岡空港の利用促進および取り組みについてと観光振興と最先端技術を用いた産業振興についての調査 (行政調査・意見交換など)
年 月 日	令和7年3月18日(火曜日)から22日(土曜日)まで
場 所	中国 (香港、マカオ、深セン)
内 容	1 行程 自宅＝富士山静岡空港＝香港 香港－マカオ、香港－深セン 2 応対者 1) 富士山静岡空港 代表取締役社長 西村等 氏 専務取締役 ████████ 氏 2) 香港エクスプレス航空本社 経営企画総経理 ██████████ 販売・提携総経理 市場営業・補助収入総経理 企業事務部総監 市場営業高級経理 販売マネージャー 路線計画・企業事務専門員 3) 在香港日本国総領事館 領事(経済部長) 小松庸人 氏 領事 根岸辰太郎氏 副領事 薬丸健太 氏

4) マカオ行政区

現地ガイド・[REDACTED]による通訳および説明

5) 深セン市街

現地ガイドによる通訳および説明

3 聴取内容

1) 富士山静岡空港株式会社

(富士山静岡空港における利用状況と利用促進に向けた取り組みについて) 今年で開港15周年を迎え、昨年の旅客数は目標101万人に対し、51万3千人にとどまっている。さらなる利用促進を図る必要がある。注目すべきは、静岡空港は国際線の旅客数は国内全空港中12位であり、外国からは利用されやすいことがわかる。空港活性化に向け、ターミナルビルを拡張するなど先行投資してきた。事業計画としては、航空機業界を取り巻く環境の急速な変化に追従し、早期回復に対応するとともに、その先の需要拡大を見据えた戦略立案と打ち込みを実行するとした。

2) 香港エクスプレス航空本社

香港エクスプレス航空は平成25年LCC専門の航空会社として運行開始される。日本路線については、香港国際空港を拠点として、静岡の週3往復をはじめとし、成田(6往復/日)、羽田(3往復/日)など主要空港や地方空港へ週に171往復している。

使用される機材は、A320neo(188席)。

静岡便については、香港からのインバウンドが9割、静岡からのアウトバウンドが1割である。特徴として、団体客ではなくレンタカーを利用する個人客が非常に多い。県内を巡っていることがわかるので、追跡調査が必要である。

また、訪日旅行者は10回以上が3割、4～9回も33.3%を占めるなどヘビーリピーターが多いのも特徴である。また、年に複数回訪日する人が53.2%と半数以上占めるのも大きな特徴である。

3) 在香港日本総領事館

香港もマカオも中国本土の同じ国ではあるが、特別行政区の1国2制度をとっており、依然、国境が違ふとの印象を受ける。

昨年の訪日香港人数は香港人口の3割以上にあたる約268万人に達し、コロナ前の2019年を超え過去最高であった。

日本からの香港への農林水産物・食品の輸出先として、2, 210 億円の第 2 位であり、水産物だけ見れば第 1 位である。
香港には 1, 430 社の日系企業が進出している。
マカオはカジノが有名で、ラスベガスの約 7 倍のお金が動くとのこと。

4 県政への反映

日本においては“失われた 30 年”、本県においては“日本一であった荒茶の生産額が転落するなど世の中が大きく動いており、コロナ禍を経て、日本を訪れるインバウンドの姿も変わってきている。特に、今回の香港線の就航は、一度や二度ばかりでなく何度も繰り返し日本を訪れるインバウンド客が多く、また、かつてのような団体ではなく個人での訪日であることが分析によって判明している。現在の円安基調を理由とした訪日ばかりではないと考える。しかも、静岡空港からレンタカーで動いているが、どこへ、何を見に、何を食べになど、その追跡調査がされていない。その分析がなされていないのには驚くばかりである。訪日客の需要、日本の持つ人気、静岡県の魅力などをきちんと把握する必要がある。静岡県の強みとして、もっともっと売り出せるはずである。

それに加え、さらなるインバウンド需要の拡張につなげ、本県の産業および地域振興につなげる。

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県 外 調 査 概 要 書

令和 7 年 3 月 25 日

会派名・議員氏名 自民改革会議 西原明美

目 的	令和 6 年 1 2 月に新たに就航した静岡－香港線（香港エクスプレス）は、静岡空港と香港を結ぶ初の定期旅客便であり、静岡県にとって重要な国際交流・経済活性化の機会をもたらすものです。この新路線の有効活用を図り、県内産業の振興、観光誘致の促進、地域経済への波及効果を高めるため、香港を中心とする近隣都市であるマカオ・深圳における関係機関等との意見交換および現地調査を行うことを目的とする。
年 月 日	令和 7 年 3 月 18 日（火）～令和 7 年 3 月 22 日（土）
場 所	香港、マカオ、深圳
内 容	1 行程 2 応対者 3 聴取内容 上記 1～3 に関しては、別紙「会派報告書」を参照。 4 県政への反映 静岡空港にとって初めての就航先である香港は、日本人にとってかつてよりの魅力ある観光地である。そこに週三往復、静岡空港から飛んでいるのは、この先なんとしても継続したい航路である。そのため香港エクスプレスを訪問し現状と今後の見通しについて情報交換できたことはとても参考になった。現在は順調に推移しており、このままいけば増便をしたいとの事だったがその 9 割は香港から日本への訪問であった。路線継続には、静岡県側においても静岡空港から香港への訪問も促進していく必要を感じた。昔から香港への観光にはマカオとセットされている事が多い。香港はイギリス領、マカオはポルトガル領と統治は違っているが、中国に返還されてからはそれぞれ 1 国 2 制度であり、イギリス、ポルトガルの良さを残している。この観光コースを使って静岡空港から香港へ旅行客を増やす必要がある。静岡県としても、香港線を広く PR し、空港の利用促進を図るとともに、香港エクスプレスとWINWINの関係を構築していく必要があると感じた。

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県 外 調 査 概 要 書

令和 7 年 3 月 22 日

会派名・議員氏名 自民改革会議 勝俣 昇

目 的	香港の調査
年 月 日	令和 7 年 3 月 18 日～令和 7 年 3 月 22 日
場 所	香港・マカオ・深圳
内 容	1 行程 2 応対者 3 聴取内容 / から 3 に関し視察報告書(3)を参照 4 県政への反映 昨年 12 月に静岡・香港新規就航が週三便でスタートした。その為、香港からのインバウンドを増やすために香港エクスプレス社を訪問し、また香港との交流を活性化させるために在香港日本国総領事館を訪問し調査を行った。調査の結果としては、飛行機を利用するのは団体が減り、個人客が増える傾向にある。富士山が人気で静岡空港に到着後はレンタカーにて静岡県を中心に周辺地域を回っている。地震を警戒し予約数は減少傾向にあるが、アニメちびまる子ちゃんが人気なので活用すればインバウンドもさらに増えるとの指摘がされた。静岡空港のスタッフ不足により増便に繋がらない現業も顕在化した。その他、マカオや深圳における都市開発や生活状況についても調査を行い、深圳では生活のすべてがスマホで成り立っていて現状を調査した。富士山静岡空港のスタッフを整え香港からのインバウンドの増加に繋げる可能性を十分に感じた視察となった。

* 本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県 外 調 査 概 要 書 令和 7 年 3 月 24 日 会派名・議員氏名 自民改革会議 小沼秀朗	
目 的	静岡県にとって重要な国際交流・経済活性化の機会をもたらす、静岡－香港線（香港エクスプレス）が、令和6年12月に新たに就航した。これは、静岡空港と香港を結ぶ初の定期旅客便であり、今後、この新路線をいかに有効活用するかが、静岡県にとって重要な課題である。今回、香港、マカオ、深圳を視察し、関係機関等との意見交換および現地調査を行い、今後の県内産業の振興、観光誘致の促進、地域経済への波及効果を高めることを静岡空港香港航路就航視察の目的とした。
年 月 日	令和7年3月18日（火）～令和7年3月22日（土）
場 所	香港、マカオ、深圳
内 容	1 行程 2 応対者 3 聴取内容 上記1～3に関しては、別紙「会派報告書」を参照。 4 県政への反映 ○香港 「香港エクスプレス」「在香港日本領事館」を視察し、香港エクスプレスは、香港のみならずマカオ、深圳等を含む GBA（グレイター・ベイエリア）一帯からお客様を集客しており、香港の人口700万人超に対し、GBAの人口は約7,000万人で、これら一帯を商圏として、搭乗者の4分の1を香港以外から集客しているとのこと。香港人の日本での消費額は約14万円。1便で14万円×180人＝2,520万円を日本で消費している計算になる。これがデイリーになれば、静岡県にとっても大きな経済効果が生まれる。県政からもより一層の力を入れ、静岡－香港線の就航を今後も続け、増便となるよう応援し、より期待される双方向の人流拡大、観光誘致、ビジネス交流、産業振興に活かしていきたい。 ○マカオ 世界中から観光客を引きつけるマカオの魅力は、Skypark Macau by Hackett など新しいものと、聖ポール天主堂跡、ザビエル城壁、セドナ広場、媽閣廟など歴史的なものが共存していた。短時間で周遊できる観光ルートづくり等、静岡県の観光振興策に反映させたい。 ○深圳 中国のシリコンバレーとも呼ばれるイノベーション都市・深圳においては、スタートアップ支援、ハイテク産業育成、産学官連携の先進事例を学んだ。医療・バイオ・AI・スマートシティなど、静岡県が注力する分野へ反映させたい。

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県 外 調 査 概 要 書 令和7年3月 31日 会派名・議員氏名 自民改革会議 加藤祐喜	
目 的	令和6年12月に新たに就航した静岡－香港線（香港エクスプレス）は、静岡空港と香港を結ぶ初の定期旅客便であり、静岡県にとって重要な国際交流・経済活性化の機会をもたらすものです。この新路線の有効活用を図り、県内産業の振興、観光誘致の促進、地域経済への波及効果を高めるため、香港を中心とする近隣都市であるマカオ・深圳における関係機関等との意見交換および現地調査を行うことを目的とする。
年 月 日	令和7年3月18日（火）～令和7年3月22日（土）
場 所	香港、マカオ、深圳
内 容	1 行程 2 応対者 3 聴取内容 上記1～3に関しては、別紙「会派報告書」を参照。 4 県政への反映 香港エクスプレスによると現在はまだ黒字路線化になっていないという事でした。一時的な路線とすることなく継続した路線の運航が県にとっては有益です。その為には、現在大半を占めている個人旅行客向けの誘致強化は必須です。県内観光地をレンタカー利用で回ることの多い個人客を県内に来て滞在してもらう仕組みが今後も求められますし、ちびまる子ちゃん等の地元キャラクターを活用したプロモーション、温泉、食などの体験型観光資源の発信を強化することで、香港・GBA 圏からの訪問者増が期待できます。また、静岡発のアウトバウンド促進も不可欠です。静岡県民に向けた香港・マカオの魅力発信、教育・経済・文化分野での相互交流を深めることで双方向の人流を生み出せます。そうすることで継続的な路線運航にも寄与すると考えます。

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内 容	会派視察 九州（大分・熊本・鹿児島）3月26日～28日 10名分		
年 月 日	令和6年 4月 2日 ～ 令和 年 月 日	金 額	1,700,260 円

目 的	報告書参照
使 途	視察代
政務活動・ 県政との 関 連 性	報告書参照

《領収書貼付枠》

1,699,930 円 + 振込手数料330円 = 1,700,260 円

案分の理由 全て政務活動	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	1,700,260 円	100%	1,700,260 円

承認結果<振込振替>

処理日時 2025年04月02日 09時56分27秒

■取引情報

取引ID	250402000031719
受付番号	0402001
取引種別	振込振替
振込指定日	操作日 04月02日
取引名	04月02日作成分
振込メッセージ	—

■振込元情報

支払口座	
------	--

■振込先口座

振込先金融機関	静岡銀行 (0149)
振込先口座	袋井支店 (325) 普通 0218052
受取人名	エンシュテッドウカ
登録名	遠州鉄道㈱

■振込金額

入金金額	1,699,930円
税込手数料	330円
引落合計金額	1,700,260円

■依頼者情報

依頼者	
依頼日	2025年04月02日

■承認者情報

承認者	
承認期限	2025年04月02日
承認日時	2025年04月02日 09時56分
コメント	会派視察(大分・熊本・福岡 3/26~28 10名)

振込依頼を受付けました。

3-15

No. 077022693

請求書

102953-24121114

発行日 2025年04月01日



遠州鉄道株式会社

旅行



静岡県議会 自民改革会議 様

中遠旅行営業所

〒438-0016 磐田市岩井2190-1

TEL 0538-31-5511

担当者

FAX 0538-31-5517

責任者

登録番号 T5080401000702

弊社をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。
下記の通りご請求申し上げますので、お支払い下さいますようお願い致します。

合計金額	¥1,699,930-
------	-------------

(消費税内訳) 明細別紙
10%対象 ¥1,699,930 (内税 ¥154,539)

(お支払いは銀行振込にてお願いいたします)

《取引銀行》

静岡銀行 袋井支店 (普) 218052 《口座名》遠州鉄道(株)

★御入金(お振り込み)は4月30日までにお願ひ申し上げます。

★お振り込みは請求書宛名にてお願ひ申し上げます。

★振込手数料は、貴社(貴方)ご負担にてお願ひ申し上げます。

3-15

静岡県議会 自民改革会議 様

102953 - 24121114
発行日 2025年4月1日

毎度 ご利用いただきましてありがとうございます。
下記のとおりご請求申し上げます。



遠州鉄道株式会社

〒430-8655 静岡県浜松市中央区旭町 1 2-1

〒438-0016 磐田市岩井2190-1

TEL 0538-31-5511
FAX 0538-31-5517

ニ請求額 ¥1,699,930-

ご利用日 2025年3月26日～28日

担当所属 中遠旅行営業所

担当者 XXXXXXXXXX 責任者

[illegible]

ご請求金額にご不審な点がありましたら
お手数ながら、ご連絡ください。

ご請求額	¥1,699,930
------	------------

*は軽減税率対象項目

(お支払いは銀行振込にてお願いいたします)

《取引銀行》

《取引銀行》 静岡銀行 袋井支店 (普) 218052 《口座名》 遠州鉄道 (株)

御入金(お振り込み)は4月30日までお願い申し上げます。

旅行代金内訳書 (国内受注型企画旅行用)

発行日

令和7年4月1日

自民改革会議

様

旅行日	2025年3月26日(水)～3月28日(金)
行 先	九州視察2泊3日 大分 熊本 福岡 鹿児島
参加人員	10 名(大人 名・ 子供 名)

※当書面は企画書面に明示した受注型企画旅行契約に基づく旅行代金につき、それを構成するそれぞれの項目についての当社の販売価格の目安です。また、それぞれは、左記に表示した人数に基づくものです。

単位(円)

交通費(固定費)	項 目	区間/条件等	販売単価	数 量	金 額	適用
	貸切バス代	3日間	385,000	1	385,000	中型バス
	説明員		66,000	1	66,000	
	乗務員費用		54,000	1	54,000	2名2泊
	有料道路		50,000	1	50,000	
	桜島フェリー		4,530	1	4,530	バス
(小計①/ 10 名)お一人様 55,953 円			小計①		559,530	
交通費(変動費)	項 目	区間/条件等	単 価	数 量	金 額	
	国内航空券代	静岡 - 福岡	29,250	10	292,500	
	国内航空券	鹿児島 - 静岡	31,140	10	311,400	
宿泊代	地 名	条 件	単 価	数 量	金 額	
	大分	1泊朝食付き	15,400	10	154,000	
	鹿児島	1泊朝食付き	16,500	10	165,000	
食事代	地 名	食 事 内 容	単 価	数 量	金 額	
入場料/その他	項 目	摘 要	単 価	数 量	金 額	
	桜島ビジターセンター	案内人	15,000	1	15,000	
	桜島フェリー		250	10	2,500	
	企画料	5%	8,000	10	80,000	
	コーディネーター	1人 12,000 円	120,000	1	120,000	
	小計②		小計②		1,140,400	
ご旅行代金総額 A			169,993	10	1,699,930	
お一人様旅行代金 (A/ご参加人数)			10 名様ご参加の場合	169,993	※左記金額には任意の旅行保険代は含まれておりません	

備考

* 国内保険は任意です。

令和6年度 自民改革会議

九州視察報告書

大分、熊本、鹿児島

令和7年3月26日（水）～令和7年3月28日（金）



令和6年度 自民改革会議 九州視察報告書

訪問の概要

静岡県の発展や課題解決に向けて先進事例を学び、地域振興や産業活性化に活かすことを目的として以下を視察。

＜大分県宇宙港（SPACEPORT）について＞ 次世代産業として期待される宇宙関連産業について、その運営体制や地域経済への影響を学ぶため。

＜くまもとセミコンテクノパーク他について＞ 半導体産業が地域にもたらす雇用創出や技術革新の取り組みを、静岡県内での産業育成の参考とするため。

＜火山等の自然災害について(桜島ビジターセンター等鹿児島県庁)＞ 自然災害と共存する地域社会の取り組みについて、災害対策や観光振興の視点から学ぶため。

1 訪問日程

令和7年3月26日(水) ～ 28日(金) 2泊3日

※詳細は行程参照。

利用航空便

- ① 往路 (3/26): 富士山静岡空港 09:00 発 → 福岡空港 10:55 着 (FDA143)
- ② 復路 (3/28): 鹿児島空港 14:20 発 → 富士山静岡空港 15:45 着 (FDA134)

2 訪問団の構成

区分	名 前	職名等
議員	相坂 摂治	静岡市駿河区 団長
	飯田 末夫	浜松市中央区 幹事
	西原 明美	藤枝市
	杉本 好重	浜松市中央区
	小沼 秀朗	掛川市
	岩田 徹也	函南町
	加藤 祐喜	長泉町
	赤堀 慎吾	菊川市
	天野 多美子	静岡市葵区
	伊藤 謙一	袋井市・森町

3 行程

日付	時間	行程等
3/26 (水)	08:00	県内各所より 富士山静岡空港集合
	09:00	空路福岡へ(FDA143)
	10:55	福岡空港着
	11:20	貸切バスにて移動
	15:30	大分県庁 (宇宙港 SPACEPORT のレクチャー)
	～17:00	
	17:10	ホテルへ
3/27 (木)	08:30	貸切バスにて移動
	11:15	原水工業団地 (外観視察)
	13:00	熊本県庁 (半導体産業についてのレクチャー)
	～14:00	
	16:50	ホテルへ
3/28 (金)	08:30	貸切バスにて移動
	09:30	桜島ビジターセンター
	～10:30	
	12:30	鹿児島空港
	14:20	空路静岡へ(FDA134)
	15:45	富士山静岡空港着後、解散 県内各所へ

4 訪問記録

大分県庁（宇宙港 SPACEPORT のレクチャー）

日時： 令和 7 年 3 月 26 日(水) 15:30~17:00

場所： 大分県庁 大分県大分市大手町 3 丁目 1 - 1

応対者：大分県 商工観光労働部 先端技術挑戦課 宇宙開発進行班

上野 剛 主幹、山本 拓也 主任

聴取内容：

<大分県宇宙港の概要について>

宇宙港とは

宇宙船＝①ロケットのように垂直に発射するもの②飛行機のように水平に離陸する

宇宙船が離着陸する場所の総称を「宇宙港」という。

宇宙港への期待

さまざまな産業の共創が期待される宇宙港は、その周辺においても科学技術、物流、観光、文化などの拠点としての発展も期待されている。

なぜ大分空港が宇宙港に選ばれたのか？

- 1) 3,000m 級の滑走路＝大型航空機の離発着可能な滑走路
- 2) 多様な産業集積＝石油、科学、半導体、鉄鋼など幅広い分野の産業がバランスよく集積
- 3) 豊富な観光資源＝クライアントや観光客をもてなす際に活用できる豊富な観光資源

宇宙港への挑戦への過程

2017 年 地球低軌道循環観測超小型衛星「てんこう」の共同開発に県内 4 社が参画

2018 年 てんこうを載せた H2A ロケット打ち上げ成功

2019 年 第 33 回(2021 年度)ISTS 大分別府大会の開催を決定

2020 年 米国 Virgin Orbit 社と「大分空港の宇宙港活用」に関するパートナーシップを締結

2021 年 第 33 回 ISTS 大分・別府大会オンライン開催

2022 年 米国 Sierra Space 社、兼松株式会社とパートナーシップを発表

パートナーシップに日本航空株式会社が参画

県内における宇宙関連ビジネスの振興

- 1) 県内企業の宇宙産業への参入＝衛星データの利活用・宇宙機器の開発
- 2) 企業向け講座・商談会の開催＝宇宙機器開発講座、衛星データ解析技術者養成講座など
- 3) 宇宙ビジネス創出支援事業費補助金＝

6. 宇宙産業を担う次世代人材の育成

- 1) 小中高校生向けに、宇宙をテーマにしたセミナーや体験会、アイデアコンテストを開催
- 2) 県立国東高校 SPACE コース＝宇宙を題材に地球の課題解決に向けた STEAM 探究学習
- 3) 高校生・大学生のチームで宇宙ビジネスを考案する合宿形式のワークショップを実施

今後目指す展開

- 1) 宇宙港の実現＝宇宙往還機 Dream Chaser の大分空港への着陸
- 2) 宇宙関連ビジネスの振興＝宇宙機器開発・衛星データの利活用の促進
- 3) 宇宙産業を担う次世代人材の育成＝宇宙を通じた新たな教育機会の提供

<質疑応答>

Q 国東高校 SPACE コースの新入生は何人いるのか。

A 1 年生が 16 人でうち 3 人が関東地方の生徒である。次年度は北海道からも 1 人入学する。

Q 大学との関係は。

A 東京理科大との関係が築ければいいと思っている。また、学生が地元に戻って来られるようなラボも必要である。

Q てんこう2の打ち上げ予定は。

A 今年度に打ち上げたいと考えており、てんこう3のプロジェクトも進めている。

Q てんこうの目的は。

A 大学の先生が使うデータ収集であり、学術的な知見と考える。

Q 大分空港がスペースポートに選ばれたきっかけは何か。

A 滑走路が3,000mあり、過密でないこと、3方向が海に面していることが評価された。

Q 県庁での推進体制は。

A 推進のため専門の室ができて5年、課ができて2年である。予算は6,800万円。

Q スペースポートの将来の見込みは。

A アメリカで今年5月に実験予定であり、大分は2027年度の実現を目指している。

Q 事業着手のとき、県庁が取組を始めたきっかけは。

A 知事から直接、商工労働部長（経済産業省からの出向職員）に指示があった。

Q 宇宙で取得したデータをどう産業に活かしていくのか。

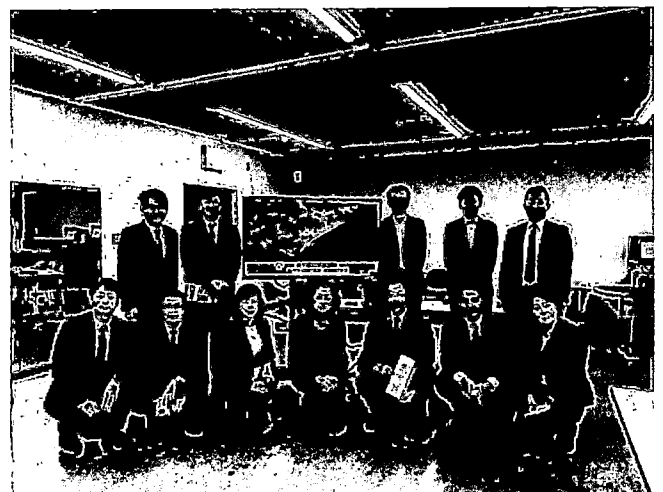
A すぐに商取引につながるとは思っていない。例えば、赤潮の仕組みの解析に利用できるのではとか考えているが、研究をビジネスにつなげるところまではまだ見えていない。

Q I S T S大会の再びの誘致を考えているか。

A 大きな大会であり、かなり難しいと思う。

Q 宇宙産業に関する産業界の期待は。

A 九州全体で3,500億円、大分県で350億円の経済効果が見込まれている。



くまもとセミコンテクノパーク原水工業団地視察と

熊本県庁（宇宙港 SPACEPORT のレクチャー）

日時： 令和 7 年 3 月 27 日(木) 工業団地 11:15~11:30、県庁 13:00~14:00

場所： くまもとセミコンテクノパーク原水工業団地 熊本県菊池郡菊陽町内

熊本県庁 熊本県熊本市中央区水前寺 6 丁目 1 8 - 1

応対者：熊本県商工労働部産業振興局企業立地課半導体立地支援室 納美由紀 課長補佐

聴取内容：

TSMC 進出の影響と課題・対応について聴取した。

(1) 熊本県の半導体産業について

- ・1962 年、三菱電機熊本工場の進出を始まりとし、九州に半導体産業が集積してきた。シリコンアイランド九州の誕生である。

- ・熊本県は産業振興施策として半導体分野を戦略的分野と位置付け、国の施策と連動した独自の戦略的誘致を行ってきた。特に 1980 年代の熊本テクノポリス構想においては、多数の工業団地の形成や支援体制等の構築があり、多くの企業誘致・産業育成のきっかけとなった。

- ・半導体産業は洗浄用に大量の水を必要とするが、熊本は良質な地下水が豊富であること、多くの理工系人材の輩出など、熊本地域が有する強みが大きな要因となっている。

- ・シリコンアイランド九州と呼ばれ、九州地域は多くの半導体産業が立地している。九州全体でおよそ 1,000 社、その内熊本県には 200 数十社が集積している。製造メーカーだけでなく、メンテナンスメーカーや工場・器具設置メーカーなど関連企業がまんべんなく存在している。

(2) TSMC (JASM) の進出

・JASM は、TSMC が過半数を出資し熊本県に設立した子会社である。ソニーセミコンダクタソリューションズ(株)、(株)デンソー、トヨタ自動車(株)が少数株主として参画している。

・第1工場は、2021年11月に進出が決まり、2024年に稼働した。

・第2工場は、2024年2月に進出が決まり、2027年の稼働を目指している。

・設備投資額は、両工場で2兆9,600億円、雇用予定者は3,400人以上である。第1工場では1,700人が就業している。



(3) 県内への波及効果

- ・県内における半導体関連企業の集積による経済効果は11兆1,920億円である。
- ・新たな雇用の創出、サプライヤー企業の進出、地場企業や既立地企業との新規取引や取引量の増加、県内企業の技術力の向上、新たな産業の創出などの効果がある。
- ・また、定住人口の増加や税収の増加、賑わいの創出などにも繋がってくる。

(4) 課題への対応

ア. 地下水保全への対応

半導体産業は地下水を大量に利用するため地下水の量が減少してきた。対応として、川の水を利用し水田湛水を実施することにより、地下水採取量に見合う地下水の涵養を人工的に行っている。

イ. 交通渋滞の解消

道路拡幅、カラー舗装や区画線の設置による通学路危険個所対策、通勤バスの増便やルート変更などを行ってきた。今後も信号制御の見直しや交差点改良などに取り組んでいく。

ウ. 人材の育成・確保

- ・熊本大学「情報融合学環」「工学部半導体デバイス工学課程」の新設

- ・県立技術短期大学校「半導体技術科」の新設
- ・熊本高専「半導体技術者育成プログラム」の新設
- ・熊本工業高校「半導体技術」科目、水俣高校「半導体情報科」の新設
- ・出前授業や動画等による半導体の魅力発進
- ・熊本インターナショナルスクールへの支援 など

エ. 阿蘇くまもと空港への国際便の増便

台北との定期便を週 12 便（チャイナエアライン週 5 便、スターラックス週 7 便）に増便したほか、高雄と週 3 便、香港と週 4 便、ソウルと週 17 便、釜山と週 7 便が就航している。

(5) 熊本県内の工業団地整備状況

- ・現在、分譲中が 2 か所 50ha、R10 までに分譲開始予定の造成中が 10 か所 148ha、合計 198ha を整備している。
- ・今後 3～4 年で 12 か所 170ha を新たに造成する見込みである。

<質疑応答>

Q1 県民の何割くらいの方が半導体産業に関わっているのか。

A1 人口では把握していない。県の製造品出荷額でいうと半導体関連事業が全体の 2 割強を占めている。

Q2 半導体産業が急激に進展しとこのより他の業種や事業者への影響は出ていないか。

A2 人材的には、サービス業が不足しているなどの一部で影響は出ている。半導体産業の初任給が 28 万円で、他産業より 5～6 万円高くなっているが、福利厚生の充実など社員の満足度を上げて離職を防いでいる。

Q3 地方では若者の流出が増加しているが、半導体産業の集積は若者の流出抑制につながっているか。

A3 理工系の学生はおよそ5割が県外流出していたが、徐々にではあるが県内就職が増えてきている。

Q4 外国人が流入しているということだが、どのくらい増えているのか。また、外国人材無しでは半導体産業は成り立たないのか。

A4 外国人の流入は年間1,000人くらいである。元々外国人が少なかったので人口比率が高いわけではなく、日本人主導で操業している。

Q5 TSMCの進出により地元社会への影響、生活の変化等はどうか。

A5 時給が安くラーメン店の人材がいなくなった、家賃が上がり店舗が撤退したなどと報道があったが、それは一部の話であり、全体的には好意的に受け入れられている。受入体制はまだまだと思うが、大きな影響は出ていない。

Q6 県が支援しているインターナショナルスクールは法的に認められた学校なのか。

A6 専門学校に属するものであり、県が単費で支援している。

Q7 地下水対策としての水質検査は法律に基づくものか、それとも県独自で定めたものか。また、検査結果はどうか。

A7 法律によるものであり、排水に異常値はない。

Q8 企業立地における国、県、市の役割分担は。

A8 明文化されてはいないが、10ha以上の団地造成は県、それ未満は市町が整備している。農振除外については県がまとめて行っている。

Q9 農振除外は業種指定しているのか。

A9 業種指定はしていない。基盤整備をしていないところを選んでいる。

Q10 企業誘致により地方税が増えても75%は基準財政収入額に算入され、その分地方交付税が減額となる。この仕組みに何らかの対応をしているか。

A10 菊陽町は固定資産税が増額し、令和7年度は不交付団体になる見込み。県は不動産取得税を

減免しているため、まだ税収の伸びは見られない。今後、事業税等が伸びてくると思われる。交付税制度への対応は特別していない。

Q11 企業誘致に関して、予算を含め今後の県の方針はどうか。

A11 知事は、企業誘致を重点項目として取り上げているので、今後も積極的に対応していく。

Q12 今後3～4年で工業用地を170ha増やすということだが、レディメイドかオーダーメイドか。また、県の企業局が市町の工業団地造成を行っているか。

A12 すべてレディメイドである。市町は独自で造成している。

Q13 中国と台湾の関係が気になるが、台湾の半導体企業を誘致するにあたって、中国との関係で考慮したことはあるか。

A13 九州は中国に近く国民保護法に基づく対応はしているが、企業誘致に当たって特段の対応はない。



桜島ビジターセンター

日時： 令和 7 年 3 月 28 日(金) 9:30~10:30

場所： 桜島ビジターセンター 鹿児島県鹿児島市桜島横山町 1722 番地 29

応対者：桜島・錦江湾ジオパーク認定ジオガイド XXXXXXXXXX

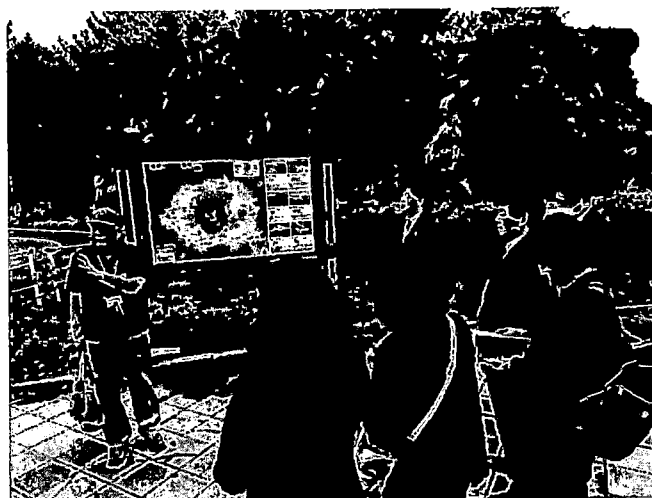
聴取内容：

桜島・錦江湾ジオパークは、鹿児島県に位置する桜島を中心としたジオパークで、2012 年に日本のジオパークに認定されました。桜島は活火山であり、火山活動によって形成された壮大な景観や、噴火による地層の変化が観察できる場所が多数あります。桜島はもともと島でしたが、約 100 年前の大正噴火により鹿児島県と繋がり、現在は陸続きになっています。

視察した、3 月 28 日の 3 日前には 3 回の噴火があり、年間 800~900 回ほどの噴火を絶えずしているそうです。それにより、近隣住民の防災意識は非常に高く、小学生はヘルメットをかぶり登下校し、街中では避難シェルターが存在しています。観光資源等で、活用される一方で、いいときも困難な時も火山と共存していることがよく伝わってきました。

観光資源という観点で、桜島の火山活動によって形成された特徴的な地形を見ることができました。特に湯之平展望所では、溶岩から岩へと変わった過程も含めよくわかりました。

また桜島ジオパークでは、地域住民の協力によってジオパークの魅力を発信しており、地元のガイドによるツアーや、地域資源を活用した教育プログラムが実施されており、地域の観光業が活性化していました。以前の大正噴火前には、島民が20000人いたそうですが、現在は3500人まで激減しており、島内の小学校の統合の話等が話題になっているそうです。



県 外 調 査 概 要 書 令和 7 年 3 月 30 日 会派名・議員氏名 自民改革会議 相坂 摂治	
目 的	地域振興、産業活性化に活用するための先進事例調査
年 月 日	令和 7 年 3 月 26 日（水）～28 日（金）
場 所	① 大分県庁（大分県大分市大手町 3 丁目 1-1） ② 原水工業団地（熊本県菊池郡菊陽町内） ③ 熊本県庁（熊本県熊本市中央区水前寺 6 丁目 18-1） ④ 桜島ビジターセンター（鹿児島県鹿児島市桜島横山町 1722-29）
内 容	1 行程 2 応対者 3 聴取内容 1～3 の事項は別紙『令和 6 年度自民改革会議九州視察報告書』（3-15）を参照 4 県政への反映 ① 大分県庁宇宙港（SPACEPORT） 宇宙産業への取組を開始した都市が少しずつ全国的にも注目されるようになってきた。その理由として、科学技術、物流、観光、文化、製造、IT、データ管理及び活用など様々な産業が共創することにより、イノベーションを起こすきっかけとなる産業分野だからだと言われている。特にその取組の中には、何らかの人類初の挑戦、初めての技術活用、部品利用などが必ず含まれており、関わる人々の新たな野心、実験意欲を惹きつけるからだろうと感じる。 大分県が始めた取組は、米国の関連産業、国内大手商社、航空事業者とのパートナーシップの締結によって、将来技術的に協力できる企業の育成、空港という資源の活用を目指している。2018 年の「小型衛星てんこう」の共同開発に大分県内企業が参画したことや次世代への教育啓発が広がるなど、着実な歩みを示している。 今後は衛星から取得されるデータを産業用情報としてどのように活用するか、を検討するようだが、求められるデータの精度、ドローンなどの代替技術との競合、データ解析や分析に伴う費用過多など、構想段階から課題も明らかになっているようだ。さて本県でも静岡大学の教授によって人工衛星の開発が行われており、私もこの教授との交流、衛星獲得データの利用について取り組んできた経緯があり、今回の視察から現在の宇宙産業への参画の現在地を認識することができたが、改めてこ

	のテーマについては、調査、研究を重ね実りある産業として実現させたいものである。 ② 熊本セミコンテクノパーク原水工業団地の視察及び半導体産業の集積 半導体産業の熊本県への集積は近年だけの勢いではなく、近年の TSMC の進出を可能にしたそもそもの産業集積、企業技術の集積が歴史的になされていたようである。シリコンライランド九州と呼ばれる所以とのこと。 エネルギー、食糧で日本国民の生活に資源高騰による物価上昇の影響が実感される時代を迎えた。コロナや国際紛争の情勢による物流の停滞やエネルギー需給事情の変化による一過性の物価上昇ではなく、もはや世界で爆発的に急増している人口、これに伴う世界経済の成長と膨大な数のアジア、アフリカ国民の生活水準の変化によって、恒常的な成長過程に突入し、日本の国内産業がこの成長に参画できていないためだと私は捉えている。 こうした時代に起こる変化は、食糧の分配法則の変化、求められる教育の質の変化、世界的な技術利用に伴う地球温暖化の増長と気候変動への対応などだと考えており、この急激な変化に向けて、日本には急激で大胆な革新を求められている。特に国内での産業成長に必要な人材の確保については、外国人との共存に向けた地域社会の変革に加え、安全、生活衛星、各種資格の外国人への付与、保険などの生活保障などあらゆる社会保障制度の国際化を図る必要がある。 こうした産業変化を実現するには、熊本県のような次世代にも成長が期待される分野への参画に着手するしかない。これまでに製造してきたものは、中国が世界経済の市場に参入した 20 年前から日本のみならず世界の製造技術が輸出され、現地生産されている以上、我が国特有の高度な産業を創出しなくてはならず、熊本県のような、注目を惹きつけ、発信力があり、一般的にも分かりやすい産業でこれを進める姿勢は、まさに絶好の先進事例だと感じる。 本県の製造技術を見直し、専門家を交えた新産業の創出に向けた研究の実施を促す必要がある。 ③ 桜島ビジターセンター 火山との共存という他ではほとんど例のない生活を余儀なくされており、活火山がどのように生活に影響しているかを知ることができた。しかしながら、国内には桜島に限らず、幾つもの火山帯が存在しているものであり、富士山を有する本県も例外ではなく、今後の火山活動によっては、桜島で行われてきたシェルターの整備や安全装備への準備も視野に入れる必要がある。
--	---

* 本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県 外 調 査 概 要 書 令和 7 年 3 月 3 0 日 会派名・議員氏名 自民改革会議・飯田末夫	
目 的	静岡県の発展および課題解決に向けて先進事例を学び、地域振興や産業活性化に活かすことを目的として、以下の調査を行なう。 (大分県・熊本県・鹿児島県)
年 月 日	令和 7 年 3 月 2 6 日 (水) ～ 2 8 日 (金)
場 所	大分県 (大分市)、熊本県 (熊本市)、鹿児島県 (鹿児島市)
内 容	1 行程 2 応対者 1 ～ 2 については、別紙「会派報告書」を参照 3 聴取内容 1) 大分県宇宙港 (SPACEPORT) について 次世代産業として期待される宇宙関連産業について、大分県の宇宙政策について調査する 2) くまもとセミコンテクノパークほかについて 熊本県で行われている半導体産業振興が地域にもたらす雇用創出や技術革新の取り組みを調査する 3) 火山島の自然災害について (桜島ビジターセンターほか) 火山噴火など自然災害と共存する鹿児島県の取り組みから、富士山の噴火など災害対策とジオパークを活かした観光振興について調査する

4 県政への反映

大分県の宇宙産業や熊本県の半導体産業など先端技術産業についてはこれまでわが国のお得意の分野であり、これからも大いに期待される分野である。特に、両県とも自県の強みを活かした取り組みは当たり前ではあるが、本県としても工業をはじめとする産業が発達しているので、これらの先端技術産業の集積をはかり、効率よく支援を続けていかなければならないことを再認識した。

また、外国からの企業立地にあたっては、直接的には国による施策ではあるが、県などとしてもいち早く情報を入手するための専門部署の必要性を感じる。ひいては、ものづくりに強みを持つ本県のこれからの産業振興に直結するものと思われる。

これからも本県の政策や施策の中で取り入れていくよう、働きかけていきたい。

また、桜島ビジターセンターを訪ね、想定される本県における富士山の噴火の際に、どのように住民の生命と財産を守ることができるか調査するとともに考えてみた。かつて桜島では大きな噴火が3度あり、その際の噴火における火山灰の堆積については、想像を超える量（一日に2mの堆積量）であり、いざ有事の際に備えた対策などの必要性を感じる。また、噴火物から身を守る退避壕（シェルター）の設置など、住民に加え、富士山を訪れる観光客などにも配慮するよう働きかけたい。

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県 外 調 査 概 要 書

令和7年3月29日

会派名・議員氏名 自民改革会議 西原 明美

目 的	静岡県の発展や課題解決に向けて先進事例を学び、地域振興や産業活性化に活かすことを目的として以下を視察。 <大分県宇宙港 (SPACEPORT) について> 次世代産業として期待される宇宙関連産業について、その運営体制や地域経済への影響を学ぶため。 <くまもとセミコンテクノパーク他について> 半導体産業が地域にもたらす雇用創出や技術革新の取り組みを、静岡県内での産業育成の参考とするため。 <火山等の自然災害について(桜島ビジターセンター等鹿児島県庁)> 自然災害と共存する地域社会の取り組みについて、災害対策や観光振興の視点から学ぶため。
年 月 日	令和7年3月26日(水)～令和7年3月28日(金)
場 所	大分県・熊本県・鹿児島県
内 容	1 行程 2 応対者 3 聴取内容 上記1～3に関しては、別紙「会派報告書」を参照。 4 県政への反映 2017年に民間4社と九州大学が共同開発した地球低軌道環境観測超小型衛星「てんこう」を契機に、大分県では宇宙政策への取り組みがスタート。この事業は、当時の知事の強い思いに基づき、県としての可能性を模索した結果生まれた。 現在、大分県庁の商工観光労働部先端技術挑戦課内に設置された「宇宙開発振興班」は、10名のスタッフ体制で、年間予算6,800万円規模の調査研究や補助金事業を展開している。その主な目的は以下の通り。 1. 宇宙港の実現 2. 宇宙関連ビジネスの振興と企業へのメリット提供 3. 宇宙関連人材の育成 特に注目すべきは、地元の大学や専門学校、高校における宇宙関連の授業が既に導入されており、若者たちが宇宙産業に関心を抱く環境が整えられていること。このような教育的アプローチは、宇宙産業の未来を支える人材育成の土壌となり、長期的な視点で地域の発展に寄与するものと感じた。 さらに、大分空港の立地条件が宇宙港としての可能性を高めており、2025年5月に予定されているNASAと米国Virgin Orbit社の初フライが成功すれば、具体的な進展が期待される。

	こうした取り組みは、時代を見据えた知事のビジョンと、それを支える県職員の情熱があつてこそ実現するもので、すぐに成果を求めるのではなく、種をまく過程を大切にす る姿勢が重要であると改めて感じた。 静岡県においても、未来を担う若者たちが夢を持てるような事業を積極的に推進すべ き。例えば、地元大学や企業との連携を強化し、先端技術や新産業分野への挑戦を支援 する仕組みを構築することが考えられ、特に静岡空港の立地や特性を活かした事業展開 は、大きな可能性を秘めていると考える。 静岡県においても、未来への種をまき、次世代の希望につなげていくような、新たな挑 戦への第一歩を踏み出すことが必要と感じた。
--	--

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県 外 調 査 概 要 書 令和 7 年 3 月 31 日 会派名・議員氏名 自民改革会議 杉本 好重	
目 的	静岡県の発展や課題解決に向けて先進事例を学び、地域振興や産業活性化に活かすことを目的として以下を視察。 ＜大分県宇宙港 (SPACEPORT) について＞ 次世代産業として期待される宇宙関連産業について、その運営体制や地域経済への影響を学ぶため。 ＜くまもとセミコンテクノパーク他について＞ 半導体産業が地域にもたらす雇用創出や技術革新の取り組みを、静岡県内での産業育成の参考とするため。 ＜火山等の自然災害について(桜島ビジターセンター等鹿児島県庁)> 自然災害と共存する地域社会の取り組みについて、災害対策や観光振興の視点から学ぶため。
年 月 日	令和 7 年 3 月 26 日 (水) ～令和 7 年 3 月 28 日 (金)
場 所	大分県・熊本県・鹿児島県
内 容	1 行程 2 応対者 3 聴取内容 上記 1～3 に関しては、別紙「会派報告書」を参照。 4 県政への反映 大分県の宇宙港とは一体なんのことか、訪問するまで理解できなかったが、大分空港がその立地、米国企業との繋がりなどの理由で、宇宙と地球を結ぶドリームチェイサーの発着候補地に選択され、その実現に向け進めているとのことだった。宇宙産業とは一部の関連企業のものとの認識であったが、機会が到来すれば、自治体が主体となり、産学官金で推進できるものとの認識が変わった。必ずや実現することを期待したい。 熊本の TSMC 進出に関しては、1960 年代より始まったシリコンアイランド九州の中心的な立場で半導体産業を牽引してきたことが、実を結んだ結果だと認識した。港や空港それを結ぶ道路網や阿蘇山から湧き出る豊富な地下水、それも守るための対策など、いくつもの好条件と、国・県・自治体が連携し地域一体となりこの地域の産業を支えていることは言うまでもない。どの自治体も企業誘致に必死になっているところで、東名新東名の動脈を有する本県はどこよりも好条件である事に甘えることなく、果敢に本県経済の発展に寄与する企業誘致を推進すべきと、改めて思うところである。

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県 外 調 査 概 要 書 令和7年3月29日 会派名・議員氏名 自民改革会議 小沼秀朗	
目 的	今回、大分県庁、熊本県庁を視察し、次世代産業として期待される、宇宙関連産業や半導体産業を調査することで、地域にもたらす雇用創出や静岡県内での産業育成の参考とすることを目的とした。また、桜島ビジターセンターほかを視察し、自然災害と共存する地域社会、災害対策や観光振興を学ぶことを目的とした。今後の静岡県の発展や課題解決に向けて、先進事例を学び、地域振興や産業活性化、防災に活かすことを目的とした。
年 月 日	令和7年3月26日(水)～令和7年3月28日(金)
場 所	大分県・熊本県・鹿児島県
内 容	1 行程 2 応対者 3 聴取内容 上記1～3に関しては、別紙「会派報告書」を参照。 4 県政への反映 ○ 大分県庁「大分県宇宙港（SPACEPORT）について」 次世代産業として期待される宇宙関連産業の誘致においては、「海に囲まれた3000メートル級の滑走路、多様な産業集積、豊富な観光資源」の3つが大分が宇宙港に選ばれた大きな理由であった。静岡県への企業誘致において、関連となる産業の集積や交通の利便性と併せて、その誘致企業社員の心を満たす観光資源も重要な役割を果たすことを念頭に今後のPRに活かしていくよう県政に反映させたい。 ○ 熊本県庁「くまもとセミコンテクノパーク他について」 熊本県における半導体産業は「TSMC 進出」による以前から、古くは1960年代の三菱電機熊本工場進出ほか、既に長年にわたるものであった。県の工業出荷高の2割を占める産業であり、地域にもたらす雇用創出は大きい。こうした企業誘致には、半導体の工場で重要となる、地下水の保全、環境の保全に県としても大きく関わっていた。このほかにも、誘致企業と県民の共存のための、交通渋滞の解消に向けた取り組み、県政における部局横断となる推進体制を庁内に整備、人材の育成に大学、短大、高専、高等学校、中学校、小学校との自治体と教育機関の取組があり、こうしたこと参考に静岡県への企業誘致に反映させたい。 ○ 桜島ビジターセンター鹿児島県指定管理者施設「火山等の自然災害について」 桜島では、噴火活動が続いている。1000メートル以上の噴煙の噴火のみをカウントしているが、3・11の東日本大震災の際には、その予兆となる多数の噴火がみられた。また大噴火前には、島内の井戸が沸騰するなどの予兆がある。南海トラフ大地震に対する予兆に関して、今後より多くのデータ対象を公開し、県民にわかりやすい判断材料を公表していけるよう県政に反映していきたい。桜島をまるごと博物館と考え、現地で本物を見てジオパークを学べる活動は今後の富士山や伊豆半島ほかの観光まちづくり、自然災害と共存する地域社会の取り組みとして、災害対策や観光振興に県政に反映していきたい。

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

NO.1	
県 外 調 査 概 要 書	
令和 7 年 3 月 28 日	
会派名・議員氏名 自民改革会議・岩田徹也	
目 的	静岡県の発展や課題解決に向けて先進事例を学び、地域振興や産業活性化に活かすことを目的として以下を視察 ＜大分県宇宙港（SPACEPORT）について＞ 次世代産業として期待される宇宙関連産業について、その運営体制や地域経済への影響を学ぶため ＜くまもとセミコンテクノパーク他について＞ 半導体産業が地域にもたらす雇用創出や技術革新の取り組みを、静岡県内での産業育成の参考とするため。 ＜火山等の自然災害について（桜島ビジターセンター等鹿児島県庁）＞ 自然災害と共存する地域社会の取り組みについて、災害対策や観光振興の視点から学ぶため。
年 月 日	令和 7 年 3 月 26 日～令和 7 年 3 月 28 日
場 所	大分県・熊本県・鹿児島県

様式第2号

内 容	1 行程 岩田徹也 NO.2 2 応対者 3 聴取内容
	上記1～3に関しては、会派報告書＜3-15＞を参照。 4 県政への反映 ・大分宇宙港事業は、長期的には地域経済の活性化や日本の宇宙開発の進展に貢献する可能性がある。静岡県でも無駄なものについては緊縮財政が大切だが、静岡県の魅力を活かすことができる分野においては積極財政にて運営を目指す。 ・熊本県のように長い年月を掛けて企業誘致雄の土壌づくりをした結果が現在の成果であり、この成果だけに捕らわれず、静岡県としても地道な土壌づくりから学ぶことが必要とされる。 ・鹿児島市桜島では、桜島の活火山としての性質や防災対策についての情報、実際に桜島で生活する人々がどのように火山と共存しているのかを知ることができ、万が一富士山が噴火した際の防災対策などが参考になった。また、海外からの観光客が非常に多く、こちらも富士山のある静岡県の観光事業としても参考になった。

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県外調査概要書	
令和7年3月 31日	
会派名・議員氏名 自民改革会議 加藤祐喜	
目的	静岡県の実情や課題解決に向けて先進事例を学び、地域振興や産業活性化に活かすことを目的として以下を視察 ＜大分県宇宙港 (SPACEPORT) について＞ 次世代産業として期待される宇宙関連産業について、その運営体制や地域経済への影響を学ぶため ＜くまもとセミコンテクノパーク他について＞ 半導体産業が地域にもたらす雇用創出や技術革新の取り組みを、静岡県内での産業育成の参考とするため。 ＜火山等の自然災害について(桜島ビジターセンター等鹿児島県庁)＞ 自然災害と共存する地域社会の取り組みについて、災害対策や観光振興の視点から学ぶため。
年月日	令和7年3月26日(水)～令和7年3月28日(金)
場所	大分県・熊本県・鹿児島県
内容	1 行程 2 応対者 3 聴取内容 上記1～3に関しては、別紙「会派報告書」を参照。 4 県政への反映 大分県の宇宙港では、産業・教育・観光が連携し、将来の宇宙産業を見据えた人材育成も進められていた。熊本では半導体産業への大規模投資が経済波及効果を生み、地下水保全や交通対策など環境・社会インフラへの対応も並行して行われている。静岡県でも空港・港湾を活かした先端産業の誘致と、理工系人材の育成を一体で推進できる素地はあると考える。双方ともいえることであるが、地域の持つ特性を生かしてそれを継続的に進めていることが成功に繋がっている。一朝一夕ではなせないものであるため、中長期的な視野で進めていくことが求められる。 また、桜島の事例に学び、静岡県の火山地帯や自然資源を活かした観光振興と防災教育を組み合わせることで、地域の魅力発信と住民の防災力向上につなげてもらいたい。

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県外調査概要書

令和7年3月28日

会派名・議員氏名 自民改革会議 赤堀慎吾

目的	静岡県の発展や課題解決に向けて先進事例を学び、地域振興や産業活性化に活かすことを目的として以下を視察。 ＜大分県宇宙港 (SPACEPORT) について＞ 次世代産業として期待される宇宙関連産業について、その運営体制や地域経済への影響を学ぶため。 ＜くまもとセミコンテクノパーク他について＞ 半導体産業が地域にもたらす雇用創出や技術革新の取り組みを、静岡県内での産業育成の参考とするため。 ＜火山等の自然災害について(桜島ビジターセンター等鹿児島県庁)> 自然災害と共存する地域社会の取り組みについて、災害対策や観光振興の視点から学ぶため。
年月日	令和7年3月26日(水)～令和7年3月28日(金)
場所	大分県・熊本県・鹿児島県
内容	1 行程 2 応対者 3 聴取内容 上記1～3に関しては、別紙「会派報告書」を参照。 4 県政への反映 1962年、三菱電機熊本工場の進出を始まりとし九州に半導体産業が集積し、九州地域は多くの半導体産業が立地している。九州全体でおよそ1,000社、その内熊本県には200数十社が集積している。そうした背景の下、TSMCが進出し、第1工場は、2021年11月に進出が決まり、2024年に稼働した。第2工場は、2024年2月に進出が決まり、2027年の稼働を目指している。設備投資額は、両工場で2兆9,600億円、雇用予定者は3,400人以上である。 県内への波及効果は、経済効果が11兆1,920億円であり、新たな雇用の創出、サプライヤー企業の進出、地場企業や既立地企業との新規取引や取引量の増加、県内企業の技術力の向上、新たな産業の創出などの効果があるほか、定住人口の増加や税収の増加、賑わいの創出などにも繋がっている。 また、現在、12か所198haの工業団地を整備しており、今後3～4年で12か所170haを新たに造成する見込みである。 こうした熊本県の企業誘致施策を本県の企業誘致に活かしていく。

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県外調査概要書	
令和7年3月31日	
会派名・議員氏名 自民改革会議 天野多美子	
目的	静岡県の実情や課題解決に向けて先進事例を学び、地域振興や産業活性化に活かすことを目的として以下を視察。 ＜大分県宇宙港（SPACEPORT）について＞ 次世代産業として期待される宇宙関連産業について、その運営体制や地域経済への影響を学ぶため。 ＜くまもとセミコンテックパーク他について＞ 半導体産業が地域にもたらす雇用創出や技術革新の取り組みを、静岡県内での産業育成の参考とするため。 ＜火山等の自然災害について（桜島ビジターセンター等鹿児島県庁）＞ 自然災害と共存する地域社会の取り組みについて、災害対策や観光振興の視点から学ぶため。
年月日	令和7年3月26日（水）～令和7年3月28日（金）
場所	大分県・熊本県・鹿児島県
内容	1 行程 2 応対者 3 聴取内容 上記1～3に関しては、別紙「会派報告書」を参照。 4 県政への反映 九州は各分野において先進的で目覚ましい取り組みが推進されている。 その中で今回は、大分県、熊本県、鹿児島県を視察した。 大分県宇宙港の事例からは、次世代産業としての宇宙関連事業の可能性を学び、富士山静岡空港を活用した新産業の誘致や、精密機械・航空宇宙分野との連携強化が求められる。また、研究機関との協力やスタートアップ支援を通じ、県内産業の高度化を図るべきである。 次に、くまもとセミコンテックパークの視察を踏まえ、半導体産業の振興が地域経済に与える影響を分析し、静岡県内でのものづくり企業との連携強化が重要となる。企業誘致のためのインフラ整備や人材育成の強化も必要である。 鹿児島県では、桜島の防災対策を参考に、富士山噴火や南海トラフ地震への備えを強化し、防災意識の向上と観光振興の両立を図る。防災ツーリズムの推進や、防災関連産業の育成も視野に入れるべきである。 これらを総合し、静岡県の実情を生かした産業振興と防災対策の強化を進めることが重要である。

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県外調査概要書

令和7年4月1日

会派名・議員氏名 自民改革会議 伊藤謙一

目 的	九州地方の産業・観光事業の先進事例を確認し、静岡県政に活かすため。
年 月 日	2025年3月26日～28日
場 所	大分県庁、熊本県庁、桜島ビジターセンター
内 容	1 行程 別添のとおり 2 対応者 別添のとおり 3 聴取内容 別添のとおり 4 県政への反映 1～3については、会派報告書を参照 大分県庁では、宇宙港 SPACEPORT に関して視察した。47都道府県の中でもこの宇宙港の取り組みと、県として県内の宇宙産業に補助を出す取り組みはとても珍しい。しかし、国では宇宙戦略基金第二期3000億円を計上し、所管の大臣は県内選出の衆議院議員であることから、県内でも可能性を模索する価値は十分にあると感じました。この宇宙産業に日本が取り組む事で、衛星からの災害情報や産業的な二次利用等が考えられとても夢がある取り組みだと感じました。また、熊本県庁では台湾のTSMCを始めとする半導体工場の集積事業を視察しました。百聞は一見にしかずで、好景気に沸く熊本というイメージだったが現地の方々は以外にも冷静な印象で、約10年ほど前から取り組む半導体の集積事業がここにきて花開いた形だと仰っていました。先見性をもち、取り組みつづける事の重要性を感じたと共に、農業への影響や住民の反対の立場からの意見にも真摯に答えている姿勢を感じました。桜島ビジターセンターでは、ジオパークとして静岡県でも同様に自然を活かした観光面と、富士山という活火山を抱える中での危機管理面と両方で学ぶべきことがありました。地震や津波、豪雨災害等の直面する災害想定にもう少し富士山の噴火に関しても議論を深めていく必要性を感じました。

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

案分の理由 全て政務活動	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	3, 046, 230 円	100%	3, 046, 230 円

処理日時 2025年03月26日 15時25分54秒

■取引情報

取引ID	250326000437633
受付番号	0326004
取引種別	振込振替
振込指定日	操作日 03月26日
取引名	03月26日作成分
振込メッセージ	—

■振込元情報

支払口座	
------	--

■振込先口座

振込先金融機関	静岡銀行 (0149)
振込先口座	呉服町支店 (112) 当座 0007282
受取人名	カ) エスト-エスト モーション
登録名	株式会社SBSプロモーション

■振込金額

入金金額	3,045,900円
振込手数料	330円
引落合計金額	3,046,230円

■依頼者情報

依頼者	
依頼日	2025年03月26日

■承認者情報

承認者	
承認期限	2025年03月26日
承認日時	2025年03月26日 15時25分
コメント	会派広報誌 新聞掲載費 一式

振込依頼を受付けました。

3-16

〒 420-8601

静岡県静岡市葵区追手町 9 - 6

静岡県庁 本館三階

自民改革会議 御中

請 求 書

請求書NO. 1151928-001

2025年3月31日

登録番号 T4080001000673

株式会社 SBSプロモーション

経 理 〒422 8061 静岡市駿河区森下町1-35 静岡市役所 5F (054) 260 7737
静岡本社 〒422 8061 静岡市駿河区森下町1-35 静岡市役所 5F (054) 260 6911
浜松支社 〒430 0927 浜松市中央区旭町11-1 (053) 456 0786
首都圏支社 〒105 0021 東京都港区奥新橋2-9-35 (03) 6263 8776
沼津支社 〒410 0892 沼津市魚町1-5 (055) 952 1551

毎度格別のお引き立てをいただき、誠に有り難うございます。
早速でございますが下記のとおりご請求申し上げますのでよろしくご査収下さい。
お支払いにつきましては、右記の取引銀行宛にお振り込み下さい。
尚、その際、ご依頼人の欄には上記請求先名をご記入下さい。
振込手数料は貴社にてご負担いただきますようお願い申し上げます。

取引銀行 静岡銀行呉服町支店 当座No. 7282
スルガ銀行静岡支店 当座No. 678599
静岡銀行登呂支店 当座No. 1851
清水銀行静岡支店 当座No. 1021

口座名義 株式会社SBSプロモーション

作 業 名	売 上 額	消費税・地方消費税	御 請 求 額
静岡新聞広告掲載	2,769,000	276,900	3,045,900

名 称 ・ 仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
10%対象 税抜金額				2,769,000	課税
10%対象 消費税				276,900	課税
静岡新聞・朝刊・記事下・全県版・全7段・ 3/24(月)掲載				2,604,000	課税 10%
全7段デザイン費				165,000	課税 10%